

ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区報

JAPAN WEST REGION



2008—2009



BULLETIN 第2号 通巻37号 / 2009.3 発行

西日本区理事主題 Enjoy Y's life with Consideration! — Share with a smile —
「思いやりを持ってワイズライフを！」—わかち合いは微笑みをもって—
国際会長主題 Be the light of Hope 「希望の灯となろう」
アジア会長主題 Be the light of Hope 「希望の灯となろう」



「思いやりを持ってワイズライフを！」
—わかち合いは微笑みをもって—
“Enjoy Y's life with Consideration!”
—Share with a smile—

2008-2009 西日本区理事 佐藤 典子
2008-2009 Regional Director, Japan West Region
Noriko Sato

「前期の活動を実績へ！」

「思いやりを持ってワイズライフを！—わかち合いは微笑みをもって—」をテーマにスタートした今期も上半期が過ぎました。皆様のご協力で西日本区も滞りなく運営を行うことが出来ました。特に、今期は西日本区費を改定させていただきましたし、国際大会支援金への協力もお願いいたしました。前期半年報に基づき、すべてのクラブのご協力をいただきましたことに心から感謝申し上げます。

今期のスタートは、7月末から8月始めにかけてデンマーク(ヘアニング)にての国際ユースコンボケーションと第68回国際大会でした。西日本区からユースコンボケーションへ9名のユースが参加、国際大会へは39名のメン・メネットに参加いただきました。その大会の中で藤井直前アジア会長をリーダーに東西日本区のメンバーが壇上にて2010年横浜で開催される第69回国際大会のアピールを行って参りました。

今期の部会は、8月30日西中国部をスタートに10月18日びわこ部まで趣向を凝らした各部会が開催されました。詳しい内容は部長報告に譲ると致しまして、部長をはじめホストクラブの皆様が早くから準備に取り掛かっていただき、それぞれに工夫を凝らした「思いやりとわかち合い」を感じる楽しい部会だ

“Let us turn the activities in the first half into the achievement!”

The year 08/09 started under the theme “Enjoy Y's life with Consideration!” -Share with a smile- has passed its first half. The administration of this region has been carried out smoothly thanks to your cooperation. Above all, regional dues were raised, and financial support to the IC should have been an additional burden to you. I express my hearty thanks to all the clubs for your cooperation basing on the roster of the first half.

We started this year with the International Youth Convocation and the 68th International Convention in Herning, Denmark during the end of July through the beginning of August, 2008. 9 youth participated in the IYC, and 39 Y's Men and Y's Menettes in the IC. In the IC, members of Japan East and West Regions appealed the 69th IC to be held in Yokohama, 2010 to the participants under the leadership by IPAP Asia Y's Men Fujii.

District Conventions were held this year with each unique idea after the first one in West Chugoku District. Detailed reports will be made by each DGs, but I would like to thank Y's Men of host clubs and DGs for their preparation for long time for the enjoyable conventions filled with caring and sharing. The flag relays for the

ったことに感謝申し上げます。また、部会を訪問する中で2010年横浜での国際大会の登録推進のためのフラッグリレーを行い、部会参加の皆様にご署名をいただき、国際大会を身近に感じていただけたのではと思っております。なお、フラッグは今も各クラブを回って署名をお願いしておりますのでご協力をよろしくお願いいたします。

ワイズリーダーシップ開発委員会のもとワイズ必携編集小委員会を東西日本区で組織していただき、新たな研修研鑽の冊子として「ワイズ読本」が発刊されました。もうすでにご購入いただいた皆さんもいらっしゃるでしょうが、私たちにとりまして「希望の灯」となる言葉がたくさん詰まっている「ワイズ読本」です。是非一冊、お手元に置いていただき、ワイズを考える機会としていただきます様お願い申し上げます。

今期の重点目標である会員増強につきましては7月1日1670名でスタートした会員も、1月1日の後期半年報では、1684名と14名増となっております。特に西中国部と九州部の皆様の努力の結果が現れているようです。今期の西日本区会員増強目標は実増130名です。これまでの2000推進チームの努力やクラブでのEMC活動を会員増として花を咲かせ実を結ばせましょう。継続して例会にビジターをお誘いし、「思いやり」のある例会企画を行いましょ。今一度、各クラブで会員増強についてチャレンジをお願いいたします。熊本にしクラブ(仮称)と広島クラブをスポンサーとする広島西クラブの設立総会が行われます。とても嬉しく、スポンサークラブの皆様にご心から感謝申し上げます。今年度は、デンマークでの国際大会で発表された新しいプロジェクトがワイズの事業に加わりました。これは、30秒ごとに一人の子どもを奪うマラリアから子どもたちを守ろうという世界保健機関(WHO)の提唱に応じて行われるもので、西日本区でも国際協会の目標の5%、防虫蚊帳セット1,000セットを献金することにいたしました。各クラブでこの事業に取り組んでいただき、アフリカにおけるマラリアの現状をご理解いただきます様お願いいたします。地域奉仕・環境事業としてお願いしておりますが、2009年3月末(西日本区の締切は2月末)までの期限を定めた活動でTOFやUGPとは別の活動です。

promotion of registration with the International Convention 2010 in Yokohama were held together with my visits to District Conventions, which, I believe, were helpful in enhancing nearness to the IC. The IC Flag is now being circulated around clubs in order to be signed by each club. The signature of your club is also solicited.

Y's Men Manual Task Teams were established in each region under the Y's Leadership Development Committee, and the new manual "Y's Men's Reader" was published. Though I believe many Y's men should have read it already, I wish those who have not read yet will get the one with full of words expressing the "Light of Hope" in your hand to think about Y'sdom.

As to the membership increment, which is one of the main objectives, the membership 1,670 as of July 1, 2008, was increased to 1,684 by 14 in the roster of the second semester of this year. Especially, it is due to the endeavor of West Chugoku and Kyushu Districts. The goal for this year is 130 members. Let us try our best to make the efforts of the membership 2000 team flourish and bear the fruit of membership increment by 130.

Let us also continue to hold thoughtful regular meetings by inviting visitors. Please try once again for increasing members of your clubs.

An inauguration ceremony of Hiroshima Nishi club which is sponsored by Kumamoto Nishi Club (temporarily named) and Hiroshima Club will be held soon. This is a very exciting development, and I am feeling thankful to the members of the sponsor clubs.

This year, a new project has been added to our present projects, which is announced in the International Convention in Denmark. This is the project to respond to the proposition by the World Health Organization for protecting children from Malaria which is killing a child every thirty seconds. West Japan Region decided to contribute the amount worth 1,000 sets of anti-mosquito kits consisting of mosquito net, insecticide, etc. I would like to ask each club to understand the latest situation in relation to Malaria in Africa and challenge the above mentioned objective. This project is being carried out as one of the community service projects to be tackled with until the end of March separately from TOF or UGP.

Goal for the YMCA Service and ASF contribution was set at ¥1,500 per member. In response to the request from

YMCAサービス・ASF 献金につきましては今期の目標を1,500円/人といたしました。日本YMCA 同盟からの要請を受け、ユース育成のプログラムを支援して参ります。この支援によって多くのユースが新たな経験をし、明日のYMCA運動につながっているようです。また、各YMCAからの要請も事業委員会にて協議を行っていただいております。YMCAへのワイズからの支援が大きな力となっています。

BF活動については、フルグラントのBF代表を国際に申請しております。交流事業は、新しいIBCやDBCの締結が進んでおります。広報ではワイズリーフレットの検討をお願いしております。メネット事業へは、多くの部でメネット会を開催していただき、発達障がいのある子どもへの理解とそれに伴う国内プロジェクトへのご協力をいただきました。各々の事業主任の報告をお読みいただければ幸いです。

第1回西日本区役員会を7月5・6日大阪にて、第2回西日本区役員会を11月15・16日熊本の阿蘇YMCAで開催し、西日本区の懸案事項について協議を行いました。11月1日京都キャピタルクラブ25周年記念例会、11月8日大阪クラブ80周年、11月23日京都めいぶるクラブ25周年記念例会に参加させていただきました。各々のクラブに歴史があり、それを支えてこられたメンバー・メネットの懸命な活動に触れさせていただきました。西日本区も国際協会も加盟クラブによって構成されています。クラブの発展以外にワイズを発展させることは出来ません。後期に向かって、新クラブのチャーターも予定されています。一緒に、残りの半年、全力で与えられた事柄に取組、6月の西日本区大会に向けて進んでまいりましょう。ご協力をお願い申し上げます。

National Council of YMCAs in Japan, we are supporting the youth development programs to give the youth an opportunity for the new experiences, which will be fed back to the YMCA movement in the future. Many requests from each YMCA are also reviewed by the service committee. Such a support will be a great energy and power to the YMCA.

As to the BF, full grants for BF delegates are now being applied to the IHQ. In the exchange activities, new IBC and DBC contracts are under way. With regard to the Publicity, preparation of the Y's Leaflet is requested. In the Y's Menettes activity, Many districts held Y's Menettes Meetings and have taken up a project to deepen understanding of the developmentally handicapped children and to support the relative project. Please read the reports from all the Service Directors.

The first Regional Board Meeting was held during 5th through 6th July in Osaka and the second during November 15th through 16th in Aso YMCA, Kumamoto to discuss on the outstanding matters in this region. I joined the 25th Anniversary Meeting of Kyoto Capital Club on November 1st, 80th Anniversary of Osaka club on November 8th and 25th Anniversary of Kyoto Maple club on November 23rd, and felt personally the history of such clubs and the earnest supporting activities of Y's Men and Y's Menettes of these clubs. West Japan Region as well as the International Association consists of each of your clubs. There is no other way to develop Y'sdom than by developing each club. Charters of new clubs are planned toward the last semester. Let us tackle with all the activities in the last semester and see each other in the West Japan Regional Convention in June. Your full cooperation for the development of Y'sdom is very much needed.

ご あ い さ つ



「すべてのいのちを大切に」
—いのち・平和・環境—

次期理事 鈴木 誠也
(神戸ポート)

いよいよ理事スタートまで半年を切りました。身の引き締まる想いで新しい年を迎えました。昨今の経済不況と不安定な世界状況の中で考えさせられるのは、まずは一人一人のいのちが大切にされているだろうかという事です。世界の紛争地には、いのちが大切にされていない状況が一杯あります。平和を求め地球の環境を守り、神様から与えられた大切な地球といのちを大切にすることが、今求められています。一人一人すべての命あるいのちを大切に、他人への思いやりから出てくるいのちの大切さを求めたいと思います。

11月7～9日には韓国・公州での次期理事研修会に参加させて頂きました。アジア地域会長の下、11地区の次期理事（RDE）が全員集められてアジア地域会長（AP）の方針を受けて各区の方針を考える為の研修です。先ずは同じ時期に同じ役割で奉仕する11名が共に集められて交わり研鑽できたことを心から感謝し、お互いを励ましながら各地に派遣されました。



1月10～11日には西日本区次期役員研修会にて次期理事方針を説明させて頂き、次期事業主任と部長の皆さんと想いを同じく出来るように話し合い、考え合いました。各事業委員会が活発になればなるほどお金を、使うことになります。有効なお金は有効に使い、必要なおカネは、工夫しながら作り出しましょう。

「命あるすべてのいのちを大切に、平和を実現するワイズダム」を求めて、お互い人を人として認め合い、謙虚に尊敬し合う事から始めましょう。

次期会長・主査のみなさまには、3月7・8日に行われる研修会には必ず出席下さいますようお願い致します。



「変」

直前理事 神谷 尚孝
(和歌山)

9月15日に米国第4位の証券会社リーマン・ブラザーズが連邦破産法第11条を申請し、これを契機にたちまち全世界の金融・証券界は大混乱に陥り、ドルの下落で円高は90円を割り込んだ時もあり、日経平均株価は年初からの1年間に42%の下落でした。また、首相の交代、オバマ次期大統領の「チェンジ」（変革）、異常気象による災害、食の安全性、無差別殺人等で、清水寺管主による2008年の世相を表した一字漢字に「変」が選ばれました。

世界的景気の衰退で企業の人員削減が更に進行し、今後益々私達の生活が厳しくなる事を予想しなければなりません。

幸い、西日本区の会員数は、7月1日より11月末までの間では、入会62名、退会25名、純増37名と良い変化をしましたが、これは、2000推進チームの呼び掛けに、クラブと各会員の気持ちが変わり、努力した結果が表れたものであり、共に喜びたいと思います。会員増に転じたこの勢いを持続したいものです。しかし前述のような大きな社会的・経済的情勢の悪化が予想されますので、今まで以上に努力しなければ、「2000目指して一直線」は困難だと思わねばなりません。

私たちは、グローバルに青少年の健全育成を目指すYMCA運動をサポートするクラブです。このような困難な時期にこそ、私たちの活動は社会が必要としています。変えてはならないもの、変えなくてはならないものを正しく見極めながら前進しましょう。

1月24日に「熊本にしクラブ」が、3月1日には「広島西クラブ」の設立総会、鹿児島YMCA設立準備のニュースは、私たちに元気付けてくれます。私は直前理事として佐藤理事を少しでも支え、西日本区発展の為に働く気持ちは変わっておりません。



ワイズ再発見、さらに前進!

書記 守田 富男
(八代)

キャビネット一丸となって走り抜けた半年が過ぎ、真っ黒になった手帳のスケジュール欄を眺めていますと感謝と共に様々なことが思い出されます。

前期は理事と共に全ての部会を廻らせて頂き、各部の皆様には大変お世話になりました。各地の部会は企画もユニークで、何より部長の皆さんが輝いておられました。規模も歴史も異なる中、部長のリーダーシップのもと、クラブ会長を中心に地域の特性を生かした事業が展開されており、ワイズの多様性とユニークさを再発見しました。余談になりますが、部会終了後の名所めぐりも楽しみの一つでした。素晴らしい景色と美味しい料理(お酒も)に感動しました。テレビや雑誌で見ただけなのに、さも知っていたよりの自分が恥ずかしい。実際に行ってみて、行動してみなければ分からないものは沢山ありますね。

同じことを書記として働かせてもらう中で痛感しました。今まで当たり前と思っていたものが、実は周到な準備によるものであった事が見えてきました。歴代の理事キャビネットや役員、委員長・委員の皆様がどれだけ時間を割き、労力を割いて西日本区の運営に当たってこられたのか、本当に頭が下がる思いです。

新たに発刊された「ワイズ読本」も同様に多くの方々のご苦勞の末に生まれたものです。ワイズとYMCAについて新たな発見があると思います。是非ご一読下さい。(私も拙文ながら“体験的「YMCAとワイズの協働」論”を書かせて頂きました)ここで改めて関係者の皆様にご挨拶申し上げます。

ワイズにおける役員・クラブ会長は華々しい表舞台に登場すると同時に裏方でもあります。聖書にあるように、上に立つとうとする者は仕える者とならねばなりません。裏方の仕事がスムーズに行くためには、一人一人の協力が不可欠です。一番大変なのは連絡確認かと思います。電子メールや携帯、ファックスなど便利な道具がありますので、素早くレスポンスを返すことを心がけていただくと裏方の負担が軽くなり、やるべき事に集中できます。私も大切なメールがスパムメールに埋もれてしまい、気付かない事が多々ありご迷惑をおかけしています。お互いに気をつけましょう。

今期も残すところ半年となりました。区の行事としては

次期役員研修会、次期会長・主査研修会、役員会、代議員会、西日本区大会と目白押しです。各クラブでも、次期への引継ぎを視野に入れながら、当初計画の見直しを図ると同時に、会員一人一人が行動を通してYMCAとワイズを再発見し、しっかりと土台の上にクラブを築き上げていきましょう。石の土台の上に建てた家はこわれないと聖書にもあります。

アメリカに端を発する100年に一度の大不況が押し寄せておりYMCAもワイズも決して楽観視できない状況ですが、こんな時代だからこそ、YMCAとワイズメンズクラブの果たす役割が重要になってくると思います。

ワイズの灯をともしながら、誇りを持って共に前進しましょう。



更なる健全財政に向けて

会計 小堀 鈴代
(熊本ジェーンズ)

西日本区会計としてスタートし早半年が経過、後半に入りました。当初は、承認頂いた予算がどう推移していくか不安な面も多々ありましたが、現状では特に大きな問題もなく、事業委員会、各委員会においても開催場所を考慮して頂いたり、役員会に合わせて開催スケジュールを立て、頂くなど工夫して頂き、経費節減へのご協力に感謝しております。

今期は理事事務局が九州熊本という事もあり旅費交通費が一番気になるころでしたが、熊本での第2回役員会も無事終え、あとは6月に開催される区大会での第4回役員会、代議員会を控えていますので、皆様の今迄以上の経費に対するご協力をお願いしなければなりません。特に、各事業委員会の事業費については前もって予算が組まれていますので、常に念頭に置かれて計画・実行して頂きたいと思っています。尚、主収入となる区費については、後期半年報を基に後期分の請求が行われ、2月末を納入期限とさせていただきますが、前期同様スムーズな運営がなされます様、各クラブ会長、部長に早い対応をお願い致します。

今期は区費値上げを行なった初年度でもあり、ある意味今後の叩き台といえるのかもしれませんが、一人一人が経費についての自覚と配慮があれば健全財政として運営出来るものと思っています。

さて、お願いばかりでしたが、9月に入ってから各部会が開催され、佐藤理事と共に全部会に出席させて頂きまし

た。場所も内容も全てに於いて各部の工夫がみられ、特色を生かした楽しい部会に貴重な体験をさせて頂きました。改めてキャビネットの一員としての役職に感謝しています。各地のワイズの皆さんと触れ合い楽しい交流が持てた事は、ワイズの役員としてだけでなく私個人としても貴重な経験でしたし、一度に沢山の仲間友人を持てた気がしています。ワイズの仲間の素晴らしさを改めて痛感した時でもありました。これからもこの仲間、友人達の協力を得ながら佐藤理事の下でキャビネットの一員として残り半年、更なる健全財政目指して会計職を全うして参ります。



行動しよう

行政監事 森本 榮三
(大阪高槻)

米国において2007年度に発生したサブプライムローン問題をきっかけに、日本でも金融・経済・労働分野で様々な問題が発生し、先が見えない、先が読めない、状況にあります。

西日本区においては、減少傾向にあった会員数が昨年度は増加に転じました。会員獲得に向けて各クラブが行動を起こされた成果が表れたもので、今年度後半も更なる取り組みに期待したいと思います。

しかし、先が見えない、先が読めない今日の状況が続くことで、経済情勢等に影響された会員の退会も予想されます。クラブ会長を中心に、これまで以上に会員への気配り、目配りが必要になってまいります。会員から発信された小さな信号も見落とすことなく対応してください。

また、活動面では厳しい生活を余儀なくされる人が増えるなか、それぞれの地域に密着した身近な問題にも目を向けて取り組み、実績を積まれるようお願い致します。

特に国際統一事業「STOP HIV/AIDS」は4年目を迎え、日本は先進国の中で唯一「HIV/AIDS」の感染者・患者が増え続けています。根治薬や予防ワクチンの開発に見通しが立たないままに08年も終わりましたが、07年末現在でHIV感染者／9,643人、AIDS患者／4,544人が確認されています。04年からは毎年1,000人を超える感染者・患者が発生しています。専門家の中には表に出ない数字を加えると1万人以上と言う方もおられます。特に20代～30代の増加が目立ち、40代も増加傾向にあります。拡散防止のためワイズメンの英知を集めて取り組まねばならない問題です。

佐藤理事期の後半、山積する重要課題を、事業主任・部長・クラブが手を携え、スクラムを組んで、地道に身近なところから取り組まれることを切望致します。



安定した財政基盤のために

財政監事 佐野 文彦
(四日市)

現在私たちを取り巻く経済の不況は100年に一度あるかない位、厳しいものです。これは米国のサブプライムローンの破綻から始まり、低所得者にも住宅ローンを貸し付けて販路を拡大しようとしたアメリカ金融・証券機関の過りが原因でした。底の見えない金融不安が、世界中のマーケットに大きな打撃をあたえてしまいました。株価の急激な暴落が実態経済では深刻な問題を投げかけております。事実新しい雇用不安や失業問題が私たちの生活を直撃しております。

このような厳しい生活環境の中で、今期は会費が前期、後期夫々7,500円に値上がりし、2010年の横浜国際大会支援金500円も負担しなければなりません。諸物価高騰で生活が苦しくなりつつある中での会費納入は、時間が掛かり全クラブが完納するのに1ヶ月以上送れてしまいました。理事ゴールに向けて事業を展開していくためには、計画どおり金銭授受も実施したく思いますので会計担当者の一層の奮起を求めます。

経済のグローバル化と同様、地球の温暖化と共に台風・地震などの災害やマラリアやエイズのような感染症なども地球的規模で発生しています。献金やファンドなど国際送金が必要な場合には、為替レートを考えねばならない程円高がすすんでいます。経常会計の収入増をはかるためには、会員増強に努めなければなりません。経済の冷え込みが余りにも急なので会費納入も苦しい年になりそうです。皆様の一層のご理解とご協力をお願い致します。

事業活動報告



多くのプログラムに参加してください

Yサ・ユース事業主任 濱田 善秀
(福岡中央)

事業主題を「ワイズとYMCAとユースにできる社会貢献活動を探そう」と掲げて任期の半分を経過しました。皆様のクラブのプリテンを拝見させて頂き多くのプログラムのなかで、ワイズとYMCAとユースにできる社会貢献活動が実践されていることに喜びを感じます。実施内容として一部紹介致します。京都部の上原Yサ・ユース事業主査よりの報告で入院中の子供達やそのお母さん達そして看護婦さんや一般の方、YMCAリーダー、ワイズメンズクラブなど70名参加の交流プログラム「ギブキッズ病院での秋のコンサート」の実施や、サバエキャンプ場で病気の子供たちとその兄弟達のために、医療スタッフ、京都YMCA、YMCAリーダー、ワイズメンズクラブなど総勢100名を越すプログラム「青い空と白い雲のキャンプ」の実施について報告を受けています。これから他の部も多くの報告があがってくると思います、理事通信や西日本区のホームページの中で事業報告として掲載していきます。

Y・Yフォーラムも12月末の時点で西中国部は「共に語ろう 共に考えよう ワイとワイズ2008」として実施、阪和部では「YYフォーラム・ボウリング大会」として実施され両方共にボウリングでワイズ、YMCA職員、ユースを含む多くのメンバーで親睦を図り2部で講演と意見交換を中心としたプログラムで大盛會に終ることが出来たと報告を受けています。2009年度に入り各部で次々とYYフォーラムの実施が予定されていますが多くの皆様の参加で親睦と発展的な意見交換がなされることを期待致します。

日本YMCA同盟に対するYサ・ASF事業資金支援事業につきましては、「アジア・太平洋同盟ユース・ジェンダー協議会」(2008年7月)への参加費補助、「YMCAヨーロッパ同盟ユースフェスティバル2008」(2008年8月)



西中国部YYフォーラム



阪和部YYフォーラム

参加費補助、「第14回学生YMCAインド・スタディキャンプ」(2009年3月)への参加費補助として3つの事業に対して実施されます。次の時代を担う多くの若者達がより多くの場に参加するための支援金として活用されています。

今年もアジアエリア大会がスリランカで実施されますが、同時にユースコンボケーションも2009年7月29日から8月2日までの予定で開催されます。昨年度のデンマーク世界大会でのユースコンボケーションへは西日本区より9名のユースが参加しました。スリランカにおいては若干の情勢不安はありますが、今年度も多くのユースに参加頂ければと思います。募集要項は1月中旬に各部長の皆様とYサ・ユース事業主査の皆様を通して配布し募集に入ります。より多くの若者に若い時にしか出来ない体験の場を提供できればと考えておりますので是非各部より参加者を出して頂ければと思っています。それと同時に皆様にお願ひ致しておりますユースワンコインの募金も参加者の支援の一部として活用させていただきますので宜しくお願い致します。

最後になりましたが、ASF献金について本年度はメンバー当たり1500円の目標となっております。Yサ・ユース事業主任として多くのプログラムの中で将来を担う若者の為の支援資金として活用したいと思います。各クラブの皆様是非ご協力をお願い致します。



京都部ウイングクラブ
「ギブキッズ病院コンサート」

今期後半も各部各クラブ共に、多くのプログラムを企画されていることと思います。交流・親睦と自己研鑽の場として出来るだけ多くのプログラムに参加して頂きたいと希望します。



“地域奉仕環境事業あれこれ —この半年—”

地域奉仕・環境事業主任
杉浦 眞喜子 (大阪なかのしま)

「だれと共に歩みますか？あなたの何を分かち合いますか？」を掲げて歩み出した08-09の西日本区地域奉仕・環境事業の始まりは、7月12日午後、六甲山YMCAで開かれた「西日本区地域奉仕・環境事業主査研修会」からでした。10名の各部地域奉仕・環境主査の方々に加え、岩間みどり直前主任、遠藤通寛次期主任さらに鈴木誠也次期理事、藤田寿男京都部長も加わって下さり、豊かな緑に囲



西日本区
地域奉仕・環境
事業主査研究会
於：
六甲山YMCA

まれた六甲山YMCA里見ホールで和気藹々とした研修と交流の時を持ちました。

今期は、夫々のクラブがそれぞれにふさわしい地域奉仕活動に取り組むことを方針の一つに掲げましたが、それを具体化するために、8月に「地域奉仕・環境事業アンケート」を主査さんを通してお願いしました。夫々のクラブに「うちのクラブの地域奉仕活動はこれ！」とアピールして頂きたいという思いがありました。現在集計中ですが、その中で写真付きでアピールして下さったクラブがありましたので、1つだけご紹介します。そんなに大きなクラブでなくても、素敵な地域奉仕活動をなさっているクラブはいろいろあります。11月にはワイズデー前後にいろいろなプログラムが展開されました。事業報告書を出して下さったクラブがありますので、それを一つご紹介いたします。

その他にも素晴らしい活動がいろいろなされています。こんないい活動には西日本区のCS事業資金援助を利用して頂きたいと思うことがしばしばです。幸い昨年12月末に3件の申請が承認されましたが（この件の詳細は次号に）、もっとも多くのクラブに利用して頂きたいと思っています。



津クラブ：「施設の子どもたちをクルージングへ招待」8月9日

「環境問題」は、一人一人が自分の問題として関心を持ち、具体的に行動することが大切と考え、「環境マラソン」



を提案させて頂きましたが、「手続きが煩雑で面倒！」とのおしかりも受けています。でもとにかく一人でも多くのメンバーが関心を持ち、行動するきっかけになれば、それだけでも目的は達成されることになります。そんな中、六甲部は杉村肇主査の呼びかけで、10月13日午後神戸YMCAにおいて「六甲部地域奉仕・環境事業担当者の集い」を開催されました。各クラブの地域奉仕・環境事業担当者、会長を対象とした企画で、神戸ポートクラブの細見俊雄氏の「地球温暖化について」は、この問題について大切な視点を示して下さいるいいお話でした。



「六甲部地域奉仕・環境事業担当者の集い」で講演される細見氏

UGP（国際統一事業）「HIV/AIDSの拡大を防ごう」は、5年計画の4年目です。7月26日神戸で開かれた「エイズフェスタ2008」を私たちワイズメンズクラブ西日本区が後援しましたが、このことは、私たちの取り組みをアピールするいい機会になったと思います、クラブあるいは部での話し合いに使って頂きたいと思い「HIV/AIDSチェックシート」を作りました。ご利用頂いているでしょうか？神戸学園都市クラブが8月例会で、大阪豊中クラブが9月例会で、それぞれこのシートを使って「HIV/AIDS理解」のプログラムを持たれています。その他に大阪ヴェクセルクラブが11月に、「ホップ・ステップ・青春-北稜中学のエイズ（性）教育の取り組み-」というタイトルで、エイズ教育の実際を聴く機会を持ついい例会をなさっています。

期の途中から、国際からの要請で、「ロールバックマラリア」への取り組みが活動の一つとして加わりました。特にアフリカの子ども達をマラリアの感染から救うために、「マラリア感染予防パッケージ」（1セット：900円）を、西日本区としては1,000セット送りたいと思っています。どうぞ皆様のご協力をお願いします！



思いやりの心で充実した例会 楽しい所に人は集まる

EMC 事業主任 阪田 民明
(京都グローバル)

標記の主題を掲げ半期が過ぎました。今期を 1670 名でスタートし、37 名の増員、1707 名（11 月末集計）となりましたが、佐藤理事目標の 130 名増員には程遠く、増員に頭を痛めております。

今期初めより、「2000 推進チーム」と共に各部、各クラブで、アピールを繰り返して行ってきました。部会にも参加しアピールタイムを頂き、EMC シンポジウム等で何度も語り合ってきました。『2000 名目指して一直線』の言葉は、皆様の耳にも残っていると思います。危機感を覚え、10 年後のビジョンを考えた時、現在のクラブのままで良いのかと考えさせられます。どのクラブも高齢化が進んでいます。今のままでは 10 年後に幾つかのクラブが消滅することが予想されます。奉仕クラブとして、メンバーの数が力になります。当然、少人数でも立派に奉仕されているクラブは多くあります。しかし増員と若返りの努力をしなければ、衰退し何時かは消滅していくのも事実です。人間の命は永遠では有りません。今の貴方は、現在のクラブを支えるために必要なメンバーであることは言うまでもありませんが、永続的にクラブを支えるために、また未来のメンバーのための礎を築いているということを忘れないでほしいと思います。バトンタッチをうまくできるクラブこそ永遠に続くクラブです。もう一度メンバー、一人一人が危機感を感じて、増員のキッカケを探索して下さい。各クラブだけで難しい時には、各部の部長や EMC 主査を巻き込んで、真剣に増員の為の計画をたて、早期実行出来ることを期待しています。また「西日本区 2000 推進チーム」のメンバーも各部におります。何時でも声を掛けて下さい。喜んで参加させていただきます。

「2000 推進チーム」は、皆さんの為のプロジェクトチームです。西日本区 2000 名を目指し皆さんと共に頑張っていきます。2010 年横浜国際大会までには 2000 名を達成し、多くのメンバーが参加し、国際大会を成功させたいと思っています。それにはメンバーの皆様のご協力が必要不可欠です。多くのメンバーは自分達の財産に成ります。もう一度財産を身近な所から探して下さい。楽しいクラブを求めて、今の努力が未来のワイズに繋がると思います。そして永遠に、ワイズの火を皆さんの心に燃やし続けましょう。



“ファンド事業への貢献を！”

ファンド事業主任 島崎 正剛
(名古屋プラザ)

前年度の役員研修、次期会長主査研修会を終え、7 月の役員会で今期のスタートを切りました。先ずは、各部への今期ファンド事業の目標の周知徹底を図ろうと行動を開始。日程的に部会への参加が出来そうにない、六甲部と瀬戸山陰部は、部評議会に伺い時間を割いて頂き、今期ファンド事業のアピール。

続いて西中国部会を皮切りに、最後のびわこ部会まで EF・JWF の乗を持参し、同様に PR を実施しようと意気込んで出席しましたが、各部会の盛り沢山のプログラムの中では、アピールタイムを割いて貰うのも難しく、空回りに終わってしまいました。後で聞けば殆どの部で、部会当日事前に評議会を開催していたようで、そちらで PR をすればと良かったと臍をかんだが後の祭り。事前の勉強不足と連絡調整不足を痛感しました。

各部会に出席している時に国際からの BF 代表について内容を聞かれましたが、私の手元には資料がなくお答えの仕様がありませんでした。9 月 20 日過ぎにやっと国際から BF 代表の案内が届きましたが、BF 代表の申し込み期限が 11 月 1 日必着にしては、応募期間は余りにも厳しく、第 2 回区役員会で次年度からは、3 月の次期会長・主査研修会に情報を出す旨決めて頂いた。

過去に何名くらい西日本区から BF 代表者があったのか資料として不明のため、今年度の目標として BF 代表の紹介を兼ねてその把握も同時にやりたいと思います。折角 BF 代表になられたメンバーの意志と思いと、世界のワイズの、その時の状況は整理して残して置かなくてはと思います。過去に遡って歴代のファンド主任、部長、ファンド主査さんのご協力を得て、ファイリング出来る迄は辿り付けたいと思います。

12 月末現在での EF・JWF 献金の状況は、EF が 4 件、JWF が 12 件です。BF の応募はフルグラントでの申請が 1 件ありました。次年度 BF 代表の申請をする資格は、国際でクラブメンバー一人当たり \$5 以上が最低必須条件として決められています。

＜ご注意を！ 3 月は BF 献金の締め切り月です＞

ファンド事業は BF・EF・JWF 献金を進め、ワイズの発展に貢献することです。今期はまだ目標額には遠く、

皆様方のご理解と献金目標額達成を祈るばかりです。ファンド事業の詳細は西日本区のホームページの資料庫→ファンドの手引きに詳細が書かれています。

3月はBF献金の締切り月です。この事も西日本区H・Pの事業委員会→ファンド事業委員会→島崎を順にクリックして頂ければ詳細が表示されます。

BF切手は福尾フィラテリーさんに3月15日必着です。BF現金は3月末迄に区事務所に振り込んで下さい。西日本区は一人\$15(1,650円レート110円)を今期の目標とお願いしています。使用済み切手の送付先は(有)フクオ宛で、切手に同梱する3枚の葉書は、区事務所に請求して送って貰うか、急ぎの場合は、西日本区H・Pの資料庫を開け必要事項を記入してお使い下さい。

使用済み切手は単価が安く、作業の割に送料にも満たないとお声も聞かれますが、BF基金の原点は切手に有りと言われていています。使用済み切手を集め、クラブのメンバー・メネットさんが一緒に整理作業をしながら、ワイズについて話し合いワイズダムを高める事が大切なのではないでしょうか。毎年数十キロと大量の切手を集めて頂いている岡山クラブの例もあります。よろしくお願ひします。

また、3月はEF・JWFの強調月間です。例会時にこの事を取り上げ、クラブ単位、メンバー個人で何か記念すべき事が無かったかを問い、あれば是非この機会に献金をお捧げ下さい。

最後に、数名のメンバーの方から良くメールを戴きます。最初はわずらわしいなと正直思いましたが、ふと我に返り、こういったメンバーの方が本当にワイズを愛し、育てていくのだと反省。ワイズ衰退の一つの原因は、無関心だと思わせて頂きました。このようなメンバーの方が一人でも増えることが、より強いワイズを作っていくのだと確信しました。ありがとうございます。



交流の意義そして楽しみ!

交流事業主任 小幡 弘
(京都トウビー)

ワイズメンで良かったっていう瞬間—それは交流事業かも?上半期を終えて私自身そんな風を感じる様になりました。この半年の間にも各部や各クラブからアンケート結果や素敵な交流情報など多くお寄せ頂き、そして良

好な交流の場面に立会う度に感動を覚えるようになりました。この紙面をお借りして、ほんの一部ですが上半期の交流事業トピックスを紹介いたします。

【IBC事業】

- ・大阪土佐堀クラブとケニア THIKA クラブが2008年デンマーク国際大会において正式にIBC締結が行われました(事実上は以前よりIBC交流は行われていた模様)
- ・神戸ポートクラブと米国北西部シアトルダウタウンクラブが8月22日にシアトルに於いてIBC締結
- ・名古屋南山クラブ9月25~27日韓国新仁川クラブ設立30周年記念例会において台湾中正クラブと共にトライアングルIBC交流
- ・神戸クラブ9月12~17日タイワークキャンプ25周年事業としてタイチェンマイクラブ訪問
- ・大阪クラブ80周年記念例会:台北ALFAクラブ来訪 IBC交流
- ・京都キャピタルクラブ25周年記念例会:釜山ベゼルクラブ来訪 IBC交流
- ・京都めいぶるクラブ25周年記念例会:台中長春クラブ・韓国仁川文鶴クラブ来訪。当日IBCトライアングルミーティング実施
- ・芦屋クラブ:オーストラリアエチュカYサービスクラブとのIBC締結準備進行中



【DBC事業】

- ・京都めいぶるクラブと熊本ひがしクラブが11月23日 DBC締結(京都めいぶるクラブ25周年例会時)
- ・大阪茨木クラブと東京山手クラブが1月12日 DBC締結「中西部合同新年会時」
- ・ペンタゴン DBC計画 現在既に活発な様々な交流がなされている西連合 DBC構想(神戸西クラブ・東京西クラブ・京都ウエストクラブ・大阪西クラブ)に今期



チャーターされる熊本にしクラブを加え、5つのクラブによるペンタゴン（五角形）DBCを目指し進行中

【YEPP・STEP】

- ・京都センチュリークラブ片山ワイズの次女である片山亜紀さんのカナダエリア渡航が西日本区STEP事業として予算執行の承認を得る。（メインホストファミリーはオタワクラブのDavidHall氏）8月21日壮行会席上にて贈呈式 11月20日帰国報告会
- ・ロシア区エカテリングブルグクラブから NikitaKarpov 君のSTEP受入れ要請があり、東日本区にて受入れ予定でしたが、残念ながら来日中止となりました。

【交流主査会議】

交流事業の現状把握と意義の再認識を目的とし交流主査及び次期交流主任直前交流主任を京都に招き、交流事業主査会議を実施。新鮮な情報開示や活発な意見交換・問題提議もあり前向き討議がなされ、また下半期に向け交流事業への取組みや役割について再度確認し意識の高揚に繋がる有意義且つ楽しいひと時が持てました（日時12月7日 出席者12名）

【今後の予定】

新規ブラザークラブ締結に向けサポートして参ります。そして今後も西日本区の素晴らしい交流事業の情報を収集し、皆様に開示紹介したいと思いますので、リアルタイムで情報をお寄せ下さい。



ワイズのことを知ろう！ 知っていただきましょう！

広報事業主任 中堀 清哲
(鹿児島)

時の過ぎるのは実に早いものです。私は『誇りをもって存在感を示そう』という主題をもって7月より広報主任をお引き受けしてから早半年が過ぎ去りました。

＜事業方針は＞

1. ワイズメンズクラブの存在と活動を、世間に広く広める。
2. インターネット、ブログの活用とアナログの手法のバランスを考える。の2点です。この方針での今期の最大の広報目的は必ず「EMC」です。

そして具体的な事業計画は

1. メンバー獲得の為のワイズメンズクラブのパンフレットの充実と効用を研究する。

①パンフレットを会員皆様、お一人、お一人が胸ポケットやカバンの中にいつも入れて置くようにする。

②パンフの充実と共通名刺の作成検討。

2. インターネットによる広報活動の更なる充実を図る。

3. マスメディアの利用研究

①EMC・地域奉仕・環境事業委員会と協力して、マスコミ、報道関係への情報発信の手続きなどのマニュアルを作成する。

4. IT以外の広報活動の見直し

①お一人、お一人が広報人です。口コミによる情報に勝るものなし。

前期私が力を入れたのはワイズメンズクラブの各クラブの案内チラシ、パンフレットの作成をお願いしましたが、作るだけなら簡単です。せっかく貴重なお金をかけて作ったものを寝かして置くことはありません。会員お一人お一人が常に上着の胸ポケット、あるいはカバン、ハンドバッグに入れて持ち歩いてください、そして事あるごとにそれをスツと出して一人でも多くの方々に手渡すのです。私としてはパンフはA4版の三つ折が最高。これこそ最大の広報活動です。名刺でも良いでしょう。今日のこの文章を読んでいらっしゃる貴方！今手元にワイズの名刺かパンフをお持ちですか？お持ちで無いなら今すぐ行動してください。そして、EMCに繋がしましょう。今の世の中は100年に1度の大不況という厳しい状況です。しかし、こういう時こそYMCAとワイズの理念、理想主義は活かされるべきです。皆様の素晴らしいご奉仕、活動を世間にさりげなく、しかし確実に知らしめることが大事です。それには会員お一人お一人が広報マン、ウーマンなのです。自己満足だけでは駄目なんです。ワイズの活動とご自分に誇りを持って一人でも多くの方にワイズダムを知っていただきましょう。これは外なる広報です。内なる広報はご自分でもワイズのことをもっと知ってください。今回ワイズ必携編集特別小委員会の皆様のご尽力により、「ワイズ読本」という素晴らしい本が出来ました。「ワイズとは何ぞや」という、ワイズを知るには最高の読み物です。ワイズ必携と合わせて読み、ワイズのことをご自分で知ってください。これが内なる広報の第一歩です。

さて今期の後半はデジタル（インターネット、ホームページなど）の広報にも力を入れます。主査会、広報委員会を召集し、次期長谷川広報主任にしっかりと引継ぎを致したいと存じます。



すばらしい応援団！

メネット事業主任 田上かつみ
(熊本むさし)

11月14日～15日、阿蘇キャンプにて第2回の役員会が開催されました。その折の聖日礼拝の献金をメネット事業国内プロジェクト「発達障がいのある子どもの支援」のために捧げて頂きました。今期「メネットはメンの、メンはメネットの応援団！」を合言葉に、活動してまいりましたが、まさにメンの大きな応援を戴いた様で本当に嬉しく思いました。

7月に開催しましたメネット主査研修会には、高瀬西中国部長が参加され、部会においても「自閉症の切り絵画家上田豊治氏」を招いて下さいました。その他の部会に於きましても、部長さん方の力強い応援を得て、私も「発達障がいのある子どもの支援」を存分にアピールすることができました。また、主査のお働きで、それぞれの部、クラブでも「発達障がい」について理解を深めていただき、その結果沢山の支援金が寄せられましたことに心から感謝申し上げます。



むさしメネット会ファンド商品
「乾燥糸こんにゃく」

さて、その支援金を生み出すもののひとつが、物を売って利益を得る「ファンド」です。この秋、大多数のクラブで「北海道のじゃがいも・かぼちゃ」の販売をなさった様子をブリティッシュで拝見いたしました。もちろん我がクラブも、設立依頼12年続けていますが、その販売元の「十勝ワイズメンズクラブ」では「じゃがいもファンド」で得た収益を「学習障がい児プログラム推進」の支援になさっておられるようで、今期は二重にお役に立てたのではないかと喜んでおります。その他、各クラブで、いろいろな物を販売してファンド作りを楽しんでおられるようですね。特にメネットさんや女性メンのおられるクラブでは、クッキーやジャムなど「手作り」のものもありますし、「自宅農園」でとれた新鮮な野菜や果物（中にはお米も！）もお目見えしているようです。これも、楽しみと収益の二重の喜びが味わえるすぐれものだと思います。また、地味な作業ではありますが、



主査研修会 高瀬部長も参加 丸山ハイランドにて

使用済み切手の整理も「おしゃべり」と「実益」を兼ね備えたワイズならではの楽しみ方ではないでしょうか？今期は次々に送られてくる封書に貼られた記念切手を切り抜くというすてきなご褒美もいただきました。こうした作業には「メネット力」が欠かせません！どうぞメネットさんも誘って「ファンドづくり」を推進していきましょう。

最後になりましたが、今期の西日本区メネット事業の支援先が出そろいましたので下記にてお知らせ致します。引き続き、ご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

2009年5月2日、3日には、熊本YMCA阿蘇キャンプにて「発達障がいにかかわるYMCAリーダー育成研修会」を行う予定で、準備も進められています。皆様のあたたかい献金が若者の育成の為に有意義に活用される事を願っています。

<メネット事業献金の支援先>

1. 国際プロジェクト

ウガンダ（アフリカ）の首都 カンパラ・ブワンボ地区「HIV/AIDS」啓発・予防センター開設の支援

2. 国内プロジェクト

- i) 発達障がいのある子どもへの支援
- ii) 発達障がいに関わるYMCAリーダー育成研修会の助成金を募ります

支援先：全国YMCA福祉関連事業推進会議
発達障がい支援部

3. RSD（事業主任）キャビネット支援

西日本区メネット事業主任・キャビネットの主として交通費の支援です。宜しくよろしくお願い致します。

熊本にし（仮）クラブが設立総会

1月24日、熊本にし（仮称）クラブ（水元 裕二会長）の設立総会が、20名の新メンバー参加のもと熊本中央YMCAで開催され、佐藤理事、堤熊本YMCA 総主事、阪田EMC 事業主任をはじめ区役員、ワイズメン、メネット84名が集い、設立を祝いました。

スポンサークラブの田上設立準備委員長（熊本むさし）は設立経過報告の中で「水元初代会長が、にしクラブへの移籍と初代会長につながる仮会長を引き受けるという困難な道を理解したうえで、熊本むさしクラブに入会された」ことを紹介したあと、「クラブ活動の沈滞やメンバー数の減少という試練に対し、我々が取り組んできたクラブを作り、メンバーを増やそうと言う取組みは新しいものかもしれない。我々の新クラブ設立という成功は、勤勉、誠実、勇気、フェアプレー、寛容、好奇心、忠誠心、そしてワイズを愛するという価値観によって勝ち取られたものである。これらの価値観は真理であり、歴史を通してワイズメンズクラブ活動を支えてきた力でもあった。必要なことは私たちがこれらの価値観・真理に立ち戻り、新たな責任について考え認識しなければならないということである。

すなわちワイズメン一人ひとりが自分自身や家族、仕事そしてクラブに対して責務を持っていることを認識することで、自分のエネルギーを困難な課題に注ぎ込むほど、達成感が得られ私たち自身を作り上げていくのではないのでしょうか？ 嫌々受けるのではなく、喜んで困難な課題に取り組むことが求められているのです」と報告されました。

記念講演では京都ウエストクラブの森田恵三ワイズが「ワイズの夢～ペンタゴン構想（東京西、京都ウエスト、大阪西、神戸西、熊本にし）」と題し、情熱を込めて「ワイズの楽しみ方」を話されました。

懇親会では、新メンバーが順にスピーチし、個々のメンバーを大切に作るクラブの雰囲気を感じた設立総会でした。

西日本区88番目のクラブとなる「熊本にしクラブ」の国際認証状伝達式は、4月26日（日）熊本全日空ニュースカイホテルで行われます。多数の皆様のご参加で、同クラブの門出をお祝い戴ければ幸甚に存じます。

「2000推進チーム委員長」 森本 榮三（大阪高槻）



勢揃いした熊本にしクラブのメンバーとメネットさん

「女性メンバーから見たワイズメンズクラブ」 今、女性は熱い！強い！元気！



クラブの現状に留まることなく、クラブの充実・メンバーの増強・進歩・発展に向け、指針発見の一助になればと区報編集委員会が企画。

新年早々の1月10日(土)、10時30分から5名の女性メンバーにお集まりいただき、森本榮三 2000 推進チーム委員長のご協力を得て、次期役員研修会直前に開催しました。

佐藤典子理事ご挨拶の後、約1時間30分、一時も途切れることなく諸課題について忌憚のないご意見を伺う事ができました。

女性の視点から

☆ワイズは居心地が良い。建設的で活動のしがいがある。充実した人生が送れる。

☆全てが平等、男女の区別なく自由に活動ができる ☆良い人が多い

会員増強のために

☆子息はターゲット、自クラブに限らず他クラブへトレード ☆特別メネットも会員に ☆魅力ある人、クラブに人は集まる ☆講師を呼べるクラブにチェンジ ☆重鎮の功績、意見を尊重 ☆ワイズ継続のためいつまでも特定の人に頼らず人材育成を図れ ☆ワイズの知名度向上のため知恵を出せ

司会者：メインテーマの「女性メンバーから見たワイズメンズクラブ」について、日ごろ感じておられることをお聞かせ下さい。

「なぜかとても居心地良い、女性メンバーが三者三様に非常に個性があって、誰一人として女性として見ない扱い方の中で、いろいろな形で個性を反映させてもらっています」

「他では女性ばかり集まるとすぐ噂話とかなんとか、そういう話だけで終わってしまうのですが、ワイズの輪に入ると建設的なことでの話題だし、男女という受け方が全然ないんですね。意識ではなくて自由にものが言える」
「特別メネットさんというのがいらっしゃるんですけど、あれは必要ないのではないかな。物すごく中途半端なように思うんですよ」

「若い男の子を入れた時に自分でも引けるといっておかしいんですけど、共有する部分が無いのに入ってもらったというのが非常に難しかったです」

司会者：女性会員を増やすために、特に何かポイントがありますでしょうか

「誘うのに候補として男もあり、女もありとそれだけのことですね」「4人はほど入れていますけど、女性は1人ですね」「ご主人の理解があって初めて女性メンというのがあると思います」

女性は金銭感覚が鋭い？ 会費感覚は？

「女性に入っていただくというのは、クラブの経済的にも良いかなと思っているんですよ。女性はお金にはシビアだし、使い道が理解できない時は出しません」

「大事なことに使うのだったら出すけども、男の方は割と見栄を張って格好よく出そうとされますよね。女性はそんなことは余りないですよ」「会費は納めなくてはいけませんが、納得がいくような会費の設定をしないと」「女性って一番にお金の使い方が自由になる。何とでもできるんですよ」「1カ月に2回位の例会に出て、自分が全く違う仲間に自分の心を洗浄してもらおうか、それ

とも自分が影響を与えられるような場をいただけるかもしれない。心が豊かになるというふうなことになるれば、会費の金額ははっきり言うと私は余り意識しないでもいいと思います。そう思っている女性が一杯いると思うんですね」

ワイズの魅力をもっとアピール、新入会員を誘うには人の魅力が必要

司会者:人を誘うとき、どんな切り口でワイズをアピールしますか?ワイズに関心を持つ人たちにお話できる場面をどうして持つかということが一番必要なことだと思うんですが。

「やはり、それは誘う人の魅力ですね。例えば、ああいいう人がいるんだったら入られたのに」「入って面白かった時というのは勢いがあるって、面白いと言って引っ張れる」「そうね、勢いですよ」「そういう勢いが大事」「誘う人の『人』次第だと思うんですね。でもまた、それがお義理に『来いへんか』みたいなこと言われたって行かないでしょう。絶対面白いし『来いひん』って言えるだけのものを持たないとだめですよ」「講演を聞いた時とか、常にみんなが誘うネタを増やせるという気持ちを持っていないとあかんわけで、テンションを高く持っていないと人は誘えない」

誘い方は十人十色

「私はもう誰でもいいと思う。あれこれ憶測しないで、その人が入ってきたとき次第です」「入会していただいた彼女はすぐに場を見つけて凄。あとの人も実は私の大事な友達だったりすると、私はこの人面倒見れんしと一杯悩みましたけど、実はそうではなくて、その人も自分の居場所を見つけてやっていかはる」「私は自分が誘った人の面倒が見られないから自分の気の合う人しか入れない。入ってくれた方はベテランやみんなに丸投げでなんです。みんながフォローして下さいます。男性も一人入れたんですけど、みんな本当にクラブの中心になって動いて下さっています。入会してくれそうなゲストを連れて来るので一生懸命なんです。連れて来るまでが自分の仕事、あとはお任せします」「ワイズの人ってみんな良い人ですよ。私、誰でもという言い方をしましたけれど、やはりそれに向かない人もおられますし。基準はやはり良い人」「いい人と言えば、クリスチャンだからと言って良い人って限りま

せんしね」「それは入って感じました」

ジュニアは他クラブにトレード?

「事業をしていらっしゃる方の息子さんみたいな若い人を入れたいと常に思っているんですけどね」「〇〇クラブのお父さんが息子さんを他クラブに委託され、周りがよく面倒をみられ入会されました。彼がまた、違うプレーンを呼んで下さる様になった」「ジュニアがね。頭の四隅にはワイズのことが何となしにもう既に入り込んでいますから」「親のクラブには嫌だけど、他所のクラブだったらというところで」

「うちはうちのクラブに入っています。ちょうど事業承継みたいなものだわね」

今時女性メンバー拒否クラブが存在?

「私が入会した頃は男性が中心のところへ女性が入っているという感じで、男性に何か遠慮しているというのがいつもあった」

「あの当時はもう女性がメンバーで入って来るんなら、もうおれ辞めるといふ輩がおったんで、そういうクラブもあったと聞いています」「この間もあるクラブで、うちは女性メンバー入れへん」と「私もびっくりしました。今どきそんなことを言うんだと」「それがまた男の矜持というか、プライドというのか」

「女性ばかりのクラブがあるんだから、男ばかりの男子校のクラブがあっても別に文句があるわけ無いやんって」

ワイズ事業継続・継承には人材育成

「辞める人というのは、もう辞めんといてと思います」「いや、去る者は追わずですよ。もうそれは辞めると言うてはるのを」「すごく熱心にいろいろなことをやっているのに、コロッと辞める人がおって」



「素晴らしかった人たちがいた。いたではあかん」「しかし、いくら年をいっても常に新鮮な気持ちで関わっていかれるというのは大きいと思いますね」「今は本当に内容的にも技量的にも到達しない人が、あたふたしている間に1年が終わったと、そうしたら、次の期に受け継ぐのがまた同レベルからスタート」

「だから、絶対フォローアップする重鎮がいてそのアドバイスをすることが大切です」

司会者：いわゆる中二階に上げてしまったらいけない。クラブによって差があると思いますけれども。

「事業承継と一緒に、ちゃんと次世代を見据えた、人材育成の長期展望の委員会というものを持っていなかったらダメでしょう。過去の重鎮を崇める話で終わっていたら絶対無理」

司会者：会員を増やさなくてはいけない中で、ワイズメンズクラブの知名度が非常に低いということに関して

「知名度を上げるには各クラブにマスコミに働きかける推進委員を単年度ではなく常時1名でもいいから置いて、自分のところでやる事業やクラブ活動を、新聞社や地方局だの、業界紙だのにまめに働きかける必要があります。熱意ある姿勢を外部に広報する心がけが必要です」

司会者：最後に人を増やすことについて一言ずつお聞かせください。

「やはり一生懸命声をかけてお連れすることしかない。クラブを見てもらう、それで納得してもらうことが大事かと」「いい講師を呼ぶためにも数がなかったら呼べない」「いい講師を呼べば来た人たちが感激してこんな話がまた聞きたいと言えば、呼び込むこともできる」「自分のクラブが良いクラブというか、雰囲気のある良いクラブだったら入ってきた人も辞めないし大事なことだと思うんですよ。外部発信もいいんですけど、自信を持って連れて来れるクラブを作ることが先決」

「うちはこれだというシンボルになる事業というものもあると思うんです」

「大きくなって力をつけているクラブというのは本当に乗ってはりますもんね」

いつまでもかつての功労者に頼るな 後継者を！
「いつまでも〇〇さんだの何だのと言ってないで、本当

に次の流れが来ている。〇〇クラブと言ったら〇〇さん、△△さんって、これ聞き飽きたんですわ」

「誰かさんの名前でなかったら、あそこのクラブイメージが浮かばないのかということ、その人死んだら終わりです」「みんながさっと落ちたら無くなってしまうんだから、それかなど、それが言えるというのはやはり女性かな、男性ではなかなか」

「でしょう。男性でそれを言う人が、いや今女性やからって息っているわけでも何でもなし、よいしょするわけでも何でもなし。男性で逆にそれをきちんとと言える人というのは、案外少ないです」

「こういう会をやったり、女性の理事が出たからこういう会をやろうとかという、この発想自体がもうかわいそうやね」

司会者：そういったご批判も踏まえてメンバーを増やして行かなくてはいけないと思います。新年早々、貴重なお話を有難うございました。

お忙しい中、座談会のためお集まりいただき感謝申し上げます。女性ならではの見受けられるお話やご意見もありましたが、頭を殴られ、しっかりせんかいとどやされた思いです。会話の内容は所属クラブの活動や会費の内容、YMCAやメネットについてなど多岐にわたりましたが、掲載ページの都合上割愛、圧縮させていただきました。また、Q&A方式ではなくご自由に話していただき、お名前を入れずに話し言葉をそのまま掲載させていただきました。ご了承くださいませようお願いいたします。(区報編集委員会)

司 会：森本榮三 2000 推進チーム委員長（大阪高槻）

記 録：高橋辰吉区報編集委員長（彦根）

参加者：桂厚子（京都ウエスト）、杉浦眞喜子（大阪なかのしま）、竹内芳江（岡山）、東雅子（和歌山紀の川）、森田美都子（京都パレス）

陪 席：廣井武司次期 EMC 主任、三浦克文（岡山）

部 活 動 報 告



道半ば ～後半期に飛躍を期す～

中部部長 谷川 修
(名古屋)

「楽しくワイズ、スクラム組んで」を主題に歩み出して早いもので半年が過ぎた。

◆ 新企画『楽例会』

主題に沿った新たな企画として「楽例会」という合同例会を夏真っ盛りの8月2日(土)に実施したところ、50名を超える会員のほか、ビジターや友情出演者などで盛り上がった。「これまでで一番楽しいプログラムだ」とベテランワイズから評してもらい、会場の予約がきちんと入っていなかったという恐るべきハプニングを忘れさせてくれた。

◆ 中部・部会

部会は、名古屋の繁華街ど真ん中の名古屋中央教会で開催。会員132名のところ、参加者総数が102名で、会員数に比較した参加者数としては結構高いぞと喜んでいたのは、どうやら私一人か。アトラクションのパイプオルガンミニコンサートは、会場が教会ならではの催しであり、他部とは一味違った楽しさ、味わいを共有できたとの区役員からの声に力を得た。森本監事・「西日本区2000推進チーム」委員長が挨拶の中で、「新幹線の中で夢を見た。中部が400人の会員になっていた」というメッセージは、部会のあとの懇親会で、いつの間にやら500人に膨れ上がり、笑いの中にも、会員増強への決意を強くさせられた。

◆ EMC研修会

10月に開催したEMCシンポジウム。思惑に反して20名に満たない参加者。それもいつも顔を出してくれる常連がほとんど。阪田EMC主任、井之上LD委員長の貴重な講話も、松岡ワイズの確かな実績に裏付けられた発題も、いかにも勿体無い。主催の狙いをしっかりと絞り込み、徹底した参加呼びかけをしなければいけないことを痛感させられた。

◆ クラブ公式訪問他

クラブ公式訪問では、各クラブの特徴、独自性にふれ、各ワイズが心からワイズライフを楽しんでいる様子が伺

えた。YMCAの様々な行事も、ワイズとの共催と銘打っていかなくとも、ワイズ抜きには実施できないものばかりである。



クリスマスキャロル・タワーズライツ街頭国際募金、バザー、チャリティラン、クリスマスカードコンテストに、恒例の200名近いわかサントが一堂に会するクリスマスキャロルタワーズライツ等々…

◆ 後半期の計画等

後半期は、スクラムを強めワイズセミナー、チャリティ企画、ストップエイズキャンペーン後援の講演会やYYフォーラムなどを、キャビネット、主査を中心しながら全ワイズがひとつになって実施、成功させる心づもりである。会員増強を常に念頭におきつつ。



びわこ部前期活動報告

びわこ部部長 岡田 定一
(大津)

今期のびわこ部の事業は、6月29日(日)、滋賀YMCA風の谷キャンプ場の開設準備作業から始まった。開設準備作業を6月中に行うようになった2006年および2007年は、旧年度の事業として作業し、決算処理して来たが、今期から、新年度の事業として実施することになった。滋賀YMCAのキャンプ場運営委員会(YMCA主事及びワイズメンバーが委員)が、各クラブの作業能力を勘案して6月上旬に各クラブあて作業の割り当てをし、各クラブは下見をして必要な資材や機材を準備し当日に備える。作業によっては前日から取り掛かる事もある。当日は朝から小雨が降っていて、昼前には本降りとなり、地面もぬかるんできたが作業を続行することになった。

昼食のカレーライス作りは、例年滋賀蒲生野クラブと近江八幡クラブの女性メンバーが担当。今年もおいしいカレーライスが頂けた。また今年も、学生ボランティアリーダーの応募者が多かったとかで、この日も大勢の学

生が古参リーダーの指導のもと宿泊用テントの設営に当たってくれた。

キャンプ場整備の資材費、食材費等約50万円、地代25万円全てワイズメンズクラブの負担であるが、夏休みの期間中に1,000人を超える子供たちがこのキャンプ場でキャンプ生活を楽しんでくれたことは嬉しいことだ。

10月18日(土)、西日本区しんがりの殿となったびわこ部会を大津プリンスホテルで開催した。西日本区佐藤理事、鈴木次期理事、役員の方々、京都部をはじめ西日本の各部から大勢のご参加を頂き、総勢149名という大きな部会を開くことができました。しかし、その日が折悪しく滋賀県主催の全国スポーツ・レクリエーション大会の初日と重なったため、会場やその使用時間が制限され、メネット会の催しを割愛しなければならなくなった事、お楽しみプログラムを中止せざるを得なくなったこと等、折角参加頂いた方々に満足戴けなかった点は、主催責任者としてお詫び申し上げる次第です。

11月30日(日)夕方から、三原静江交流事業主査と滋賀蒲生野クラブのメンバーが中心となって、彦根市でチャリティ・ボーリング大会が開催された。参加者は、各クラブからメンバー、メネット、コメント、YMCAからは、総主事、スタッフ、ボランティア・リーダー等あわせて50名が参加。各自2ゲームと短い時間ではあったが楽しいひと時を過ごした。メンバーからの賞品の提供も数多く、これでいろいろの飛び賞がつけられた。ガーターのニコニコ献金等を合わせ約40,000円がリーダー研修費の一助にと滋賀YMCA祝部総主事に手渡された。

その他、複数のクラブが共同して取組まれた事業として、子供たちを対象とした市民クリスマス会の開催がある。

12月7日(日)彦根市民クリスマス会(於:彦根市文化プラザホール)彦根、彦根シャトウ、YMCAの共催。
12月13日(土)近江八幡市民クリスマス会(於:県立男女共同参画センターホール)近江八幡、滋賀蒲生野、YMCAの共催。

最後に、会員増強については、11月末現在で近江八幡クラブ、彦根クラブ各1名、長浜クラブ2名、計4名の増加となっている。



振り返ればYサ...かな

京都部部长 藤田 寿男
(京都ウイング)

公式訪問を通して「意識をもって活動に参画しよう」と各クラブに2つの意識について共通理解を求める。京都YMCAの使命を理解し遂行するYMCAの一員としての意識と、自クラブの事業を常に見つめ直しクラブの現状に沿ったものかどうかを検証する意識。ワイズメン一人一人がこの意識を持つことでワイズメンズクラブのアイデンティティが確立し、メンバーの意識高揚となると共にニューメンバー獲得に向けての大きな力となり、結果としての京都部555名に繋げていると訴えた。このような共通意識のもと、4月25日にYサ・ユース事業、6月13日に地域奉仕・環境事業、23日にEMC事業、7月25



パワーポイントを使っのメッセージ

日にメネット事業、8月29日にファンド事業の懇談会を開催し、また交流・広報事業はアンケート調査を実施して各クラブと主査の意思疎通を図る。そのことの集大成として京都部会を開催し、市長の臨席も得て今後のワイズ活動に対する行政サイドの理解を深めることができた。

Yサ・ユースについてはリトリートセンターにおいて、6月29日(日)早朝より夏のプログラム開始に備えた場内施設設備の整備ワークを実施。作業開始時より雨となり合羽を着ての作業となるが、13クラブ126名が参加し、シャワー設備取り付け、テラス補修、雑草の刈り取り・焼却などを実施。昼食当番のクラブも活躍。大事には至らなかったが1件のスリップ事故があり、これを教訓として作業の安全管理についてYMCAと協同して安全対策作業マニュアルを作成。各クラブが参加するワークにはクラブ単位で安全確認の徹底を図る。また夏期プログラム終了に伴い、9月7日(日)には12クラブ103名が参加して再度の雑草刈り取り作業を実施する。そして秋の深まった11月16日(日)、YMCAに関わる人たちがリトセンに集って第8回オータムフェスタが開催された。朝から雨となり心配されたが、たこ焼き、焼きそば、焼き



京都部会での京都市長の挨拶

を163名が大いに楽しむことができ、京都YMCAには収益金約413,000円が寄贈された。

琵琶湖畔にあるサバエキャンプ場では7月6日(日)と13日(日)の2回、延べ8クラブのメンバーとリーダーたち百十数名が参加して、猛暑の中でのキャンピング清掃・



草刈・キャンプ場の囲いの設置という大がかりな開設ワークを実施した。そこでは通常のキャンププログラムとは別に8

オクタムフェスタの呼び物の一つ 月23日(土)・24日(日)の2日間にわたり「青い空と白い雲のキャンプ」が開催され、医師や看護師と共に今年参加した重度の病気で長期入院している子どもたち約20人の支援に4クラブ36名が泊まり込みで参加した。

YMCA本館では11月2日(日)に国際協力専門委員の遠藤浩氏を招いて国際理解講座を開いた後、市内12箇所

へ移動して国際協力街頭募金を実施し、子どもたち、留学生、リーダーを含め総勢425名で、募金総額423,975円となった。又、12月



一番の楽しみはクルーザー

まで毎夜それぞれ各クラブのスポンサーでロビーコンサートが行われ、様々なジャンルの音楽が道行く人たちの耳を楽しませた。特に19日にはコンサート終了後、全員が白いテープとペンライトでショッピングストリートに繰り出し、賛美歌を歌いながら練り歩く恒例のクリスマスキャロリングを実施した。

地域奉仕・環境については街頭募金を行った日をワイズデーと定め、募金活動とともに広報と連携してワイズの横断幕を用意してワイズメンズクラブのアピールを行った。そして新たな取り組みとして、京都市の行う小

鳥、天ぷらうどん、和菓子など13クラブが出店の屋台(他に協賛金支援3クラブ)に加え、野外ステージでの演奏、子供の遊びコーナー、輪投げ大会、バザーと様々なプログラム



道行く人にキャロルのプレゼント

学生への環境教育「エコライフチャレンジプログラム」への支援を検討すべく、5クラブの代表とともに授業参観を実施。下半期に具体的な方向性を打ち出す予定。

EMC・メネットについては京都部会の日を活用してそれぞれEMC討論会・環境問題をテーマにした研修会を実施した。



グループワークの授業風景

下半期にはチャリティーコンサート・ボーリング大会・ゴルフコンペで弾みをつけチャリティーランへ。

HIV/AIDS・RBM、新入会員懇親、リーダー海外派遣報告会をテーマにした研修・フォーラム開催を予定。



阪和クラブでワイワイガヤガヤ!!
～上半期の活動報告&下半期の予定～

阪和部部长 三木 求
(和歌山)

浅学非才な私が、「阪和部長」という大役をお引き受けし、昨年7月から不安一杯の船出の思いでした。あれから早いもので、アツという間に上半期が過ぎ去ってしまいました。「共にひとつの“わ”になって!」の主題を掲げて半年が経過しましたが、私自身果たして計画どおりに実施できたのかな、という後悔の念もあり、下半期には悔いの残らぬように頑張りたく、決意を新たにしております。

〈部長公式訪問〉

阪和部内には10クラブありますが、例会日が同日というクラブが2クラブあり、第1回目のクラブ訪問を1ヶ月前倒して6～7月にかけて実施致しました。

何分にも、阪和部長として初めての訪問ですので、式文をとちったり、電車で移動している時に落雷で不通になったり、アクシデントにも遭遇しました。しかし、何れにしても各クラブでは大歓迎して頂き、私自身も勇気を戴いた部長公式訪問でした。また、第1回部評議会は、阪和部の恒例により前期第3回と合同で、6月に実施しました。

＜第20回阪和部会＞

9月15日(祝)第20回の節目となる阪和部会を、和歌山YMCAで開催しました。和歌山クラブがホストして、150名のご参加を頂き盛大に開催することができました。また、阪和部合同メネット会も併催し、こちらも田中登喜子メネット主査(和歌山)のリードで、盛会だったと伺っております。

＜その他＞

●阪和部報の有効活用

年3回の予定で、今期の第1号の発行は、阪和部会開催時に配布する計画を立てました。特に、今期の阪和部報の特色は、部報に初めて広告を掲載したことです。広告獲得にご協力頂いたメンバー、掲載にご協賛頂いた皆様、有難うございました。心より御礼申し上げます。

●阪和部長通信の発行

阪和部長通信の発行に関しては、大いに反省をしています。当初は、毎月発行の予定でしたが、まだ2号しか発行できていません。下半期には、心機一転頑張ります！
＜各事業の主な活動＞

(1)「阪和部YYフォーラム ボウリング大会」

担当：Yサ・ユース主査 林 佑幸(奈良)

11月1日(土)12:30～ 新大阪イーグルボウルにて

参加者：42名

(2)「環境マラソンのキャンペーン」

担当：地域奉仕・環境主査：鈴木璋三(大阪サウス)

杉浦眞喜子地域奉仕・環境事業主任が提唱されている環境マラソンについて、各クラブを訪問し精力的に呼びかけを行なわれ、杉浦主任の「環境マラソン」に対する熱い思いを代弁されました。

(3)「中西部・阪和部合同EMC・広報・交流シンポジウム」

担当：EMC主査 東 正美(和歌山)

広報主査 大谷 茂(和歌山紀の川)

交流主査 飯沼 眞(大阪泉北)

10月11日(土)13:30～ 大阪南YMCAにて開催 参加者：100名

(4)「紙上ウエルネスウォーク」

担当：ウエルネス主査 田中宗興(大阪サザンスカイ)

11月の一ヶ月間、ウエルネスに関心を持って頂くため、希望者により日常生活の中で実施しました。

＜今後の主な予定＞

1月17日(土)第20回新年合同例会(ホスト:和歌山紀の川)

2月7日(土)第2回評議会及び有志による懇親会

3月27日(金)～29日(日)国際理解チャリティーツアー 韓国(済州島)を訪ねて 韓国

4月 阪和部テニス大会

4月以降 ミニYYフォーラム 開催希望クラブ

5月～6月 部長公式訪問(後期)10クラブ

6月20日(土)第3回評議会(次年度第1回&新旧合同懇親会)



中西部上半期活動報告

中西部部長 井上 巖

(大阪千里)

＜クラブ公式訪問＞

中西部は例会開催日が同日のクラブが3クラブあるため、毎年6～8月に実施している。今期も同様となった。6月に茨木、千里、土佐堀・豊中合同例会、7月には大阪、高槻、大阪西、ヴェクセル、センチニアル、セントラルクラブを、8月に最後のなかのしまを訪問しました。

7～8月訪問時には主査を毎回2～3名帯同し、延べにして19名。主査たちの熱意を感じました。嬉しかった事は土佐堀クラブの入会式と、センチニアルクラブの東京からのメンバーの転会式に立ち会えた事です。

＜部評議会＞

●準備評議会を6月21日に大阪YMCAにて前期第5回評議会と同日開催。引継ぎ後、新旧合同の懇親会を持ちました。

●第1回評議会を7月19日に大阪YMCAにて開催。部長、各主査及びクラブ会長の活動方針と計画を発表。中西部会で各クラブ紹介、メネット活動報告を映像にて発表する事が承認された。同日「中西部ホームページ」の運用について、ウェブサイト委員会も開催された。

●第2回評議会を11月22日大阪YMCAにて開催。次次期(2010・2011年度)中西部長選出、次期主査(2009・2010年度)選出等が承認された。

<第12回中西部・部会>

● 9月27日大阪 YMCA にて第12回中西部会を開催。部長主題「喜びを共有し、苦しみを分かち合おう」を受け「隣の芝生はどんな色？ 知ろう、学ぼう、中西部」をキャッチフレーズに、各クラブ並びにメネット活動の映像による紹介を、各会長と三品ミチ子メネット主査（大阪）によって行われた。映像による紹介は効果抜群で、正に“見ると聞くとは大違い”の感があり、他クラブの活動状況を共有出来、相互理解と親睦を深め、中西部11クラブの連帯感を強化する「手作りの部会」が開催できたと自負しています。

● 部会に先立ち部会合同メネットアワーが、同日午前より70名の参加者で開催。「笑いは天が与えた最高の宝物」と題し大阪、神戸、奈良等近畿圏6箇所で開催している『コミュニケーションサポート・ローズウッド』主宰の坂本弥生さんの講演が素晴らしく参加者も大いに満足だったとの事。三品主査より来会された田上メネット事業主任に事業献金10万円が捧げられました。
<部統一事業>

● 中西部新旧メネット会長・連絡委員会が8月2日大阪 YMCA にて開催、15名出席。

● “良き友人の輪を拓けよう”をテーマに中西部・阪和部合同 EMC・広報・交流シンポジウムが10月11日大阪南 YMCA にて開催。主催：中西部・阪和部 EMC 事業委員会・「西日本区2000推進チーム」、参加102名。地域奉仕・環境事業アンケート作成。

● 広報活動：大阪西クラブ「カンボジアで中学校建設」キャンペーンが朝日新聞及び街の情報誌に掲載された。

● チャリティーランを11月24日万博公園にて開催 主催：大阪 YMCA & ワイズメンズクラブ国際協会西日本区64チームによる競技が行われ終了後、実行委員長より大阪 YMCA 末岡祥弘総主事へ4,149,000円が献金された。

<大阪クラブ80周年記念例会>

大阪クラブ創立80周年記念例会が11月8日スイスホテル南海大阪にて開催。IBCの台北αクラブ始め、東西日本区から60クラブ、280名を越す超弩級の参加者数。

1928年11月10日チャーター、日本で初のワイズメンズクラブとして創立され、戦前、戦中、戦後を経て80周年記念例会を迎えられた事に心より敬意を表します。

<後半期の予定>

○ 1月12日中西部合同新年会

○ 2月6日 YY フォーラム

○ 3/16～4/15まで2010年横浜国際大会フラッグリレー



前代未聞の六甲部会！ でも元気度UP!の8クラブ

六甲部部長 山口 政紀
(西宮)

“悠々として急げワイズライブ” “Festina Lente” の部長主題でスタートし、折り返しまで進めることができました。
<クラブ公式訪問時の感想>

六甲部の8つのクラブは皆元気度が高くなっています。事業主査さんは大活躍、クラブ会長さんも大奮闘です。

クラブ訪問ではそれぞれに特色のある例会が会長の良いリーダーシップのもとにゲストを招き会員増強を目指して楽しく行われている様子を知りました。クラブの運営にはもちろんご苦労があり、課題を共有する努力が大切です。クラブを良くしよう、例会を楽しくしよう、会員を増やそう、等のテーマでも立場が異なると見方が異なります。同じ立場であっても着目点が異なると見方が異なります。同じ着目点であってもその日の気分によって見方が異なる場合さえあります。しかしクラブや個々のメンバーの成長に大切なことは理事方針に在るように「思いやりを持って」そして「寛容と寛大」で取り組みたいものです。私もそうありたいと願います。

<大活躍の事業主査さんたち>

大活躍の事業主査さんたちは六甲部各クラブを丁寧に訪問されています。7人の主査さんの役割はそれぞれ異なりますが、区主任からの期待と所属クラブの会長はじめクラブの応援と理解を得てメールやチラシなどで全メンバーへ呼掛けて下さっています。この役割を担って頂く事で区の事業と他の部の取り組みを知りさらに発奮していただけるように願います。

YMCA サービス・ユース主査の加茂周治（神戸西）メンは神戸 YMCA のユース委員会に深く関わり、チャリティーラン（11月3日・約2,000名）を大成功にそして新



【六甲部会】日時：2008年9月20日（土）～21日（日）
場所：神戸 YMCA 余島野外活動センター

春のわいわいフォーラムを準備。ワンコインのアピールも熱心に各クラブを激励してくれています。

地域奉仕・環境主査の杉村肇（さんだ）メンは部の担当者会（10月13日）を開催、芦屋クラブのCS資金援助（50万円）の指導や各クラブでの諸活動取り組みの啓発を。

EMC主査の阪本伸彦（神戸学園都市）メンは部の毎月のEMC集計はもとより「西日本区2000推進チーム」で取り纏め役、訂正などがあり深夜までご苦労されています。感謝！なんとか部の増員成果を上げたいと願っています。

ファンド主査の吉岡浩一（芦屋）メン、交流主査の大野勉（神戸ポート）メンはそれぞれのクラブでのIBC締結でお役を果たされると共に、それぞれの事業の目標達成を呼びかけ、六甲部の各クラブ交流が大いに活発になり、他クラブ例会への参加と相互研鑽の向上に努力頂いています。

広報主査の石田由美子（宝塚）メンは既に全クラブ訪問を完了、ワイズ名刺の活用と主任方針の「広報の目標はEMCに尽きる」を訴え、また「横浜国際大会バッジ」の着装推奨を推進しております。

メネット主査の森愛子（神戸）メネットは部内メネット会長、連絡委員会の開催（7月25日）を皮切りに、9月のメネット例会（神戸・芦屋）訪問、六甲部会での合同メネット会では「発達障がい児への取り組み」の学びを共にし、後半期全クラブへの訪問を予定、次期には区メネット事業主任を担われます。以上大活躍の主査さんたちです。

六甲部評議会は第1回を7月19日（土）に西宮YMCAで、臨時評議会を部会開催時に余島で開催し、議題の承認を得て運営され。第2回は3月21日（土）を予定。

＜六甲部会＞

六甲部会の前週開催の阪和部会に参加中、急性胆のう炎で急遽帰宅、そのまま胆嚢摘出手術で入院となりました。部長不在の部会は前代未聞の事態。岡田 祐一郎実行委員長のもと、ホストの濱 浩一会長（西宮）以下参加者全員の努力で、9月20日（土）～21日（日）香川県小豆島の神戸YMCA「余島野外活動センター」で開催。心配された天候も回復し、久しぶりの楽しい宿泊部会が出来たとの事で、本当に感謝です！

佐藤 典子理事を始め多くの区関係者、神戸YMCA 武田寿子理事長、水野 雄二総主事、川上 盾牧師に感謝申し上げます。講師の清水 彬久メン（西宮）には「ナショナルトラスト運動とヴォーリス六甲山荘」と題してお話し頂きました。



＜下半期の予定＞

中村剛会長の良いリーダーシップでユースクラブの活動を進めている神戸学園都市クラブは15チャリティーラン11/3（しあわせの村）周年記念例会を、2月14日に開催。又、懸案の篠山地区への新クラブ設立の胎動も始まりました。下半期も六甲部全てのクラブが、元気に前進する事を目指し一層発奮しましょう。



瀬戸山陰部前半期活動報告

瀬戸山陰部部長 山水 満
(姫路グローバル)

今期「地域と共に」の主題を掲げてスタートし、早半分が過ぎました。

＜瀬戸山陰部の試練＞

部長就任前に、我が瀬戸山陰部内に大きな試練が待ち受けておりました。高松さぬきクラブが在籍数2名となり活動が停滞状態になってしまった事です。この問題に付いて7月に第1回部評議会を開催しました。その直前に会長会を行い部としてどのように高松さぬきクラブの運営を支援するかを話し合いました。

その結果、1年間に限り支援金を集めてクラブ運営に役立てて貰おうとなりました。同クラブにお願いしていたYサ・ユース主査に付いては、姫路グローバルがサブとなり代行する事とし、また次々期部長も姫路クラブにお願いする事で合意致しました。

去る2008年9月28日に高松さぬきクラブへ、竹居洋子部ファンド主査、橋崎恵子部会計、新井みちる（姫路グローバル副会長）を帯同し、4名で訪問し部内各クラブの熱い思いと支援金をお届けし、出来るだけ早くクラブとしての運営、活動が出来るようお願いして参りました。

部長公式訪問の際には、クラブメンバーの減少は、クラブの弱体化と高齢化であるのが原因で、根本はクラブ例会の持ち方に

有ると考え、「時間励行」「規律ある例会」などを考える必要がある事を訴えてま





いました。

《第7回瀬戸山陰部会》

部としての最大のイベントは部会です。

秋晴れの去る2008年10月4日、63名の参加者を得て、姫路が誇る天台宗の霊山、書写山円教寺を会場にゆっくりと懇親が出来るようにと、宿泊にて開催しました。佐藤理事をはじめ部外から沢山の方々にお越し頂き盛大な



イベントになった事に改めて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

当日は、メネットアワー（田上主任・前田主査）で、学習障がい児への支援に付いてのお話。ユースアワーには現状活動報告と、今期のユースコンボケーション報告を。EMCアワーでは、今一番元気のある熊本YMCAの堤総主事のお話、姫路グローバル会長の国際大会報告に加え、円教寺の大樹住職による「見えないものの大切さ」のご講話を戴きました。

盛り沢山でしたが盛會に終わることができました。オークションでは、皆様からお買い上げ頂いた7万円を竹居ファンド主査よりJWFにお届けしました。

《後半期の予定》

- ・2月22日（日）：杉浦地域奉仕・環境事業主任を囲んでCSフォーラム開催。
- ・4月19日（日）YYYフォーラムと、広峰山クリーン作戦。
- ・3月15日（日）第2回部評議会開催。

EMCについては今期目標10名増員の100名ですが、現在実増0で、後半期頑張っていきたいと思っております。皆様のご協力宜しくお願いします。



特養ホーム 「西中国荘」へようこそ

西中国部部长 高瀬 稔彦
(岩国)

部長の主題は、「p DCAの貫徹」－益国ワイズの遺志を継ごう－です。pが小文字なのは、小粒の計画でいいから目標を立てて、必ず達成させる目標にしようという強い決意を意味しています。今期の部目標は①「西中国部100人体制の達成」、②「タイ HIV 孤児施設バーンロムサイへの支援」、③「広島YMCAとの協働」、④「地域にクラブの存在を認知させよう」です。

メンバーの皆様の方強いサポートのおかげで、部会、EMC懇談会、YYフォーラム、チャリティーゴルフ、チャリティーラン、チャリティークリスマスパーティーなど、どれも盛會で、充実していました。既存会員の親睦という点では、確かに成功ですが、①の目的達成のために来て頂きたかった、今年7月1日以降入会の新会員の参加や、新入会につながる候補者を連れて来てもらうことが、少ししか叶わなかったことは残念でなりません。

どうしても少ない人数で行うクラブ例会は、寂しい雰囲気になりがちです。部のみんなが一堂に会する場があれば会話を糸口にして親交や縁も広がり会員の退会防止に大きく貢献できると思います。後半期にも2月28～3月1日に広島似島で部交流会を持ちます。3月1日には、広島新クラブの設立総会が予定されています。

8月30日西日本区の先頭をきって開催した西中国部部会で一挙6名の入会式を挙行し、ロケットスタートを切った西中国部でしたが、その後足取りが重くなっていました。12月に呉クラブで2名の入会式があり、7月1日現在の在籍者48名を12月末にようやく58名にまで伸ばせそうです。ぜひ新クラブ設立の機運に併せて、①の目標達成を成し遂げます。

②については、西中国部内のメンバーでさえ、よくご存知でない方もいらっしゃるから、部での支援活動とバーンロムサイ自身の広報に重点をおいて、主催行事の中でPRに努めてきました。みなさんご存知、ウン万円の特例仕立ての金ピカ衣装に身を包んで、部会やクリスマスパーティー等のオークションで大暴れ。前半行事だけで20万円程のご芳志を集めました。献品や購入でご協力頂いた皆様にこの場を借りて厚くお礼申し上げます。③については、広島YMCAの青少年育成活動を主管る

国際コミュニティセンターとの協働に力を注いできました。なかでも原爆の惨状と平和の尊さを描く「I PRAY」という子どもたちの平和創作劇(ミュージカル)は開催3ヶ月前には公的支援がなくなり開催自体が危ぶまれました。若い世代への被爆体験の継承を目的に12年間続いできた公演を絶やすまいという志しで、部全クラブとメンバーが一丸となって支援し、13回めの公演を済ませることができました。また9月28日には、広島YMCAを会場に「共に語ろう 共に考えよう ワイとワイズ2008」の主題でYYフォーラムが開催されました。25名の参加者で、ボーリング競技と自閉症の絵文字画家花松れいなさんの母親花松よし子さんの講演を拝聴し、発達障害の理解を深めました。

また、チャリティーゴルフの収益金を広島YMCAが運営するわたげ教室(自閉症傾向のある子どもたち向けの遊びのプログラム)へ寄贈し、チャリティーランの収益金が何に使われているかを解説したポスターを作製したりして、YMCAの活動を支援しました。

④については、部会の基調講演にお迎えした自閉症の切り絵画家上田豊治さんの実演とお母さんの上田幸子さんの記念講演に、多くの反響を頂きました。

部会当日まで岩国YMCAを会場に行われた第7回西中国部部会協賛企画「切り絵画家上田豊治作品展」は、公開初日にテレビ山口スーパー編集局(18:15 地方版ニュース)とテレビ新広島 TSS スーパーニュース(17:54 地方版ニュース)の報道、読売新聞、中国新聞に掲載され、たくさんの方の見学を受けました。また部会の基調講演も市民に公開しました。

更に5クラブの活動風景をまとめて西中国部全体のクラブ入会の葉を作製し、会員に配布しました。写真を多用して、わかりやすい冊子に仕上がっています。きっとこれからの入会の手引きに活躍するでしょう。

皆さん、楽しい特養ホームでしょう。当施設にぜひ入所されませんか!?

後半期は、①西中国部100人体制の実現のために全身全霊を傾けます。

理事始め役員・委員の皆様、引き続きのご支援とご協力をよろしく願います。



YとY'sの絆で、社会奉仕! パートII

九州部部长 平山 俊生
(熊本ひがし)

半期が過ぎました。今期、九州部では絆を常に意識して活動してまいりました。

<クラブ公式訪問>

7月から始まった部長公式訪問では、「まず第一に、YMCAのサービスクラブである」ことを九州部の各クラブにもう一度認識してもらうために、ロースターの表紙の裏面に掲載してある「ワイズメンズクラブの目的」を印刷して持って行きキックオフ例会で唱和して貰いました。また、新入会式の時は、「2000バッジ」の装着を会長にお願いし、殆どのクラブのキックオフ例会に公式訪問チームを編成して出席することが出来ました。一番気を配ったのは、九州部長としての明確な指針は持ちながらも各クラブの特徴を大切に、会長のキックオフ例会であることに留意しました。

<部評議会>

7月の第1回評議会では、EMCシンポジウムを大野嘉宏元理事(京都パレス)にお願いしました。他の奉仕団体であるロータリークラブやライオンズクラブの歴史から我々ワイズメンズクラブの特徴などを織り交ぜながら熱き語り口で氏の思いを語って下さいました。メネットやコメントをまきこんで活動できるワイズメンズクラブの良さをいかしながら、YMCAと協働して奉仕できるという特徴を多くの人に呼びかける必要性を説き、そのためには、例会が楽しいものでなければならないこと。楽しいところだからこそ友人・知人に伝えてほしいこと。数は力であること。など多くの共感をいただきました。各クラブの会長さん方から早速、クラブに持ち帰り運営に活かしますと言葉を頂いています。

<九州部会>

9月7日に熊本交通センターで開催した九州部会で、「YMCAとワイズメンズクラブ発展のために」と題してパネルディスカッションを行い、各クラブの会長さんやパネラーから活発な意見が出、お互いにたくさん刺激を受け、クラブ運営にも役立てられているようです。鹿児島にYMCAを作る構想や新入会の嬉しい報告、さらにはパネラーの一人から「周年行事記念として新クラブを作る」というEMC宣言まで飛び出し、大変盛り上がりまし

た。そのあとの懇親会では、「熊本ヤングクラブ」の候補者が登壇など、至る所でワイズの絆が感じられました。

<周年行事>

九州部ではYMCAの周年行事が2つありました。一つは、北九州YMCA100周年です。使命を確信し、新たな一歩を踏み出したところです。もう一つは、熊本YMCAの60周年でした。感銘を受けたのは、スティーブン・ロイド・リーパー氏の記念講演でした。あの洞爺湖丸沈没で犠牲的死をとげたディーン・リーパー氏が彼の父親だったのです。「アジア・子ども・いのち」がテーマの60周年にふさわしい講演でした。氏は、さらに世界平和は、YMCAが唱えていかなければならないともメッセージをくれました。どちらの周年行事においてもYMCAとワイズメンズクラブの絆が確かさをかみしめました。

<後半期に向かって>

あと半期を残すばかりになりました。九州部は「熊本にしクラブ（仮称）」の設立総会を1月24日に迎えます。また、「熊本ヤングクラブ（仮称）」も名簿に名前を記入してもらった段階までできました。そして、何よりも「第12回西日本区大会」の第1次案内を近々発送します。亀浦正行実行委員長（熊本ジェーンズ）を中心に熊本が一つになって実行委員会を重ねてまいりました。きっと皆さまに「熊本に来てよかった」と、言ってもらえる大会になると思います。佐藤典子理事の「あなたと灯すワイズの灯」のスローガンの集大成の場としての「西日本区大会」となりますよう「おもてなしの心」でお迎えます。どうぞご参加下さい。皆様の登録を九州部挙げてお待ちしております。

常置・特別委員会活動報告



“温故知新2”

文献保存・ヒストリアン

大槻 信二
(京都センチュリー)

前回、今期区報第1号において、「私達の活動も先人の皆様のお働きに積み重ね、継続して行くものであります。難関に遭遇した時に、歴史や資料の中に解決のヒントが多く含まれているものです」と書きました。

今期になり、「ワイズ必携」編集特別小委員会の皆様のご努力により、改定版が「ワイズ読本」として刊行されましたが、正に知恵とヒントの宝庫といえるものです。

今後、ワイズ必携と共に、私達日本のワイズメン運動にとって無くてはならない資料となることは間違いありません。

一方の歴史においては、『日本ワイズメン運動70年史』が1997年末に発刊されておりますが、東西分区の際にこの運動史に使用された写真・資料等は、東日本区において保管管理される事と取り決めされました。今期、東日本区のヒストリアンである吉田明弘ワイズ（東京西クラブ）のご尽力により、この複製作業に取り掛かって頂いており、完成後には、西日本区へ頂戴できる事となりました。

前回述べました各種資料のデジタルデータ化に付きましても、これらのものから、始めたいと考えております。また、前期そして今期前半において、多くのクラブが周

年を、お迎えになられました。また、これから迎えられるクラブもございます。その中で、『周年記念誌』を発刊されることがございましたら、是非とも、西日本区へも贈与頂きたいと思っております。

昨今は、この区報を初めとして、多くの資料がデジタル化された手法で作成されていますので比較的データ収集が可能ではないかと考えますが、過去のもの、そうは行きません。そして、又その量が膨大です。然しながら、総てのメンバーが、データベースにアクセスすることにより、種々の文献・資料等を利用することが出来、未来に向けて役立てることが出来たら、どんなに素晴らしいことでしょうか。

一朝一夕に出来る事ではありませんが、これからも実現に向けて努力して行く所存ですので、皆様のご理解と、ご協力をお願い申し上げます。



西日本区 2000 目指して一直線!

西日本区 2000 推進チーム委員長
森本 榮三
(大阪高槻)

各部の部会が8月から10月にかけて趣向を凝らして開催されました。私は六甲部会のみほかの会議と重なったため不参加(2000推進チーム委員が参加)でしたが、8部会は阪田EMC事業主任にお伴して参加、部会参加者、2000推進チーム委員と一緒に「西日本区2000目指して一直線」をアピールし、会員増強を訴えました。

その際、昨年度多くの会員を獲得されたクラブの方とお話させていただき、共通するものを見つけました。お話した方から聞こえてきたのは「会長・EMC事業委員長には『行動力』があり、『やる気』、『元気』、『根気』、がみなぎっている。」ということでした。クラブメンバーに対して常に「会員の獲得」を熱く語り、意識を持って自らも会員の獲得のために行動され、啓蒙されているということでした。

また、規律正しい例会運営が成されていることも言葉の端々から伺えました。3名、5名、8名と会員を獲得されたクラブは例会の持ち方を含め、準備をしっかりされていることが分かりました。そして5年、10年後の自クラブのあるべきビジョンを持っておられることも分かりました。

更に会員獲得に当たっては、例会への招待に合わせて、入会前のオリエンテーションをクラブのマニュアルに従って行う。

①目出度く入会となった時はリハーサルをしっかり行い、厳かに会長の司式で入会式を行う。区より届いたバッチの装着をはじめ贈呈するものを用意する。式終了後は参加者全員が握手の礼を持って入会を歓迎する。

②入会後は日をおかずして会長や会長経験者による、新入会員オリエンテーションを実施し、ワイズメンズクラブのこと、クラブの事業などを知ってもらう。

といったことを実行されています。

まさに2000推進チームが今年度製作中の、会員勧誘・入会式・新入会員オリエンテーションDVDの内容を実践されていたのです。

一日も早く完成させるように委員全員で知恵を出し合い完成させたいとの思いを新たに致しました。



物品サービス委員会報告

物品サービス委員長 鈴木 良洋
(大阪サウス)

当委員会への何時も変わらぬ皆様のご支援とご協力に感謝申し上げます。

上半期は阪和部が部会にて物品販売をして頂きました。大変喜んで頂きました。ワイズマークの付いたアイテムへの関心の高さに、委員会は改めて考えさせられました。これからも(株)齊藤工芸と協議検討し、ワイズメンのニーズに即した商品をご提供出来るよう努力致します。皆様からのご要望を是非お聞かせ下さい。

周年記念品や記念誌等に使用するワイズロゴは、デザイン上品格を重視して下さい。ワイズロゴ内に別ロゴを加える事は禁じられています。また、色彩はホームページに掲載している通りに守って頂くようお願いいたします。今年度も相談頂きましたクラブには、上記のことを説明させて頂いております。

現在ホームページに掲載している商品を、実際目で見て確認したいとの意見を多くのクラブから頂きますが、残念ながら各部単位での常設展示は、費用対効果の面からも不可能な状態です。区大会・部会・周年式典・イベントにての展示販売が現状では最良と考えております事をご理解下さい。部会・周年式典・イベントの折には、ワイズ物品の展示販売を是非加えて頂きご確認下さい。

部・クラブ・個人でワイズ物品を作製使用する場合は、当委員会にご一報頂くと共に、指定業者の(株)齊藤工芸・(株)横山製作所の利用を先ずご検討下さい。今後とも宜しくお願い致します。

西日本区第1回役員会議事録

開催日 2008年7月5日(土)～6(日)

会場 ホテル クライTON新大阪

出席者 <常任役員>

理事 佐藤典子、次期理事 鈴木誠也、直前理事 神谷

尚孝、書記 守田富男、会計 小堀鈴代

<事業主任>

Yサ・ユース事業主任 濱田善秀

地域奉仕・環境事業主任 杉浦眞喜子

EMC事業主任 阪田民明

ファンド事業主任 鳥崎正剛

交流事業主任 小幡 弘

広報事業主任 中堀清哲

メネット事業主任 田上かつみ

<部長>

中部(代理) 長井 潤、びわこ部 岡田定一

京都部 藤田寿男、阪和部 三木 求

中西部 井上 巖、六甲部 山口政紀

瀬戸山陰部 山水 満、西中国部 高瀬稔彦

九州部 平山俊生

<行政監事> 森本榮三 <財政監事> 佐野文彦

<連絡主事> 山添 訓

<常置・専任委員長>

JWF 管理 白井征郎

文献保存委員長・ヒストリアン 大槻信二

ワイズリーダーシップ開発 井之上温代

組織検討・安全対策 柴田善朗

クリスチャニティー 田上 正

トラベルコーディネーター 上野哲男

(兼任) 2000 推進チーム 森本榮三

2000 推進チーム副委員長 澤田賢司

(兼任) YYL 吉本貞一郎

第11回西日本区大会実行委員長 濱田 勉

YMCA 日本 YMCA 同盟 総主事 山田公平

次期会計 杉本隆人

<理事事務局> 事務局長 吉本貞一郎

事務局員 亀浦正行、柏原芳則

区事務所職員 北村久美子

定刻に開会

司会 書記 守田富男

開会宣言・点鐘

理事 佐藤典子

ワイズソング斉唱

開会の祈り クリスチャニティー委員長 田上 正

理事挨拶と報告

理事 佐藤典子

常任役員会報告

1. 西日本区からアジア地域および国際の役員や主任について報告がなされた。

2. 新入会者については、国際大会支援金を入会の半期について免除する。

YMCA の歌

閉会の祈り

部長

閉会点鐘

理事 佐藤典子

[議案協議]

議長 理事 佐藤 典子

司会 書記 守田 富男

記録 理事事務局長 吉本貞一郎

【第1号議案】 第2回準備役員会議事録承認の件

議案提案者 書記 守田 富男
承認

【第2号議案】 第1回準備役員会にて可決された議案を役員会可決とする件

議案提案者 書記 守田 富男
承認

【第3号議案】 STEP 資金への協力について

議案提案者 交流主任 小幡 弘

片山亜紀コメント(片山吉章ワイズ 京都センチュリー)がSTEPとしてカナダを訪問することに対して、西日本区から8万の支援金を贈呈する。 承認

【第4号議案】 2010年国際大会 メネットプログラム委員の件

議案提案者 メネット主任 田上 かつみ

国際大会メネットプログラム委員として林成子直前主任と田上かつみ主任を推薦。 承認

【動議1号議案】 次期メネット主任が決定するまで松田洋子メネットを事業委員とする。

動議提案者 理事事務局長 吉本貞一郎

支持者 九州部長 平山 俊生
承認

【第5号議案】 地域奉仕・環境事業資金運用の見直しについて

議案提案者 地域奉仕・環境主任 杉浦 眞喜子
地域奉仕・環境事業資金の運用について意見を聞きたいとの趣旨を説明し、協議を行った。

- ・各クラブにあった地域奉仕をすべきだが、運営は事業委員会で決定すれば良い。
- ・各クラブで不公平がないようにすべき。
- ・事業委員会規則に環境事業を入れるよう検討。

事業委員会で審議し運営

【第6号議案】 西日本区大会登録費について（前年度からの継続審議）

議案提案者 書記 守田 富男
区大会支援金増額は否決

【第7号議案】 「次々期理事指名委員会内規」(案)の検討について（前年度からの継続審議）

議案提案者 書記 守田 富男
組織検討・安全対策委員会に付託する。承認
二日目の審議にあたり、阪田 EMC 主任の代理として澤田賢司直前 EMC 主任に議決権を与える。承認

【第8号議案】 区費の改定に伴う西日本区定款施行細則の改定について

議案提案者 理事 佐藤 典子
提案者が理事であるので議長を書記（守田富男）に交代。

改訂日を年次代議員会開催日2008年6月14日とすべき、また第5条「連絡主事の区費」を「連絡主事会員の区費」と文言を統一する。承認

【第9号議案】 第11回西日本区大会の収支報告ならびに剰余金処分の件

議案提案者 第11回西日本区大会実行委員長 濱田 勉
参加者が多かったこと経費削減に努めたことによって、¥1,400,000の剰余金が生じ、奈良 YMCA に¥1,000,000、JWF に¥400,000に献金をする。柴田財政監事より監査報告。承認

【第10号議案】 7月6日 第1回役員会での聖日礼拝における献金について

議案提案者 理事 佐藤 典子
日本 YMCA 同盟ユースファンドへ捧げる。承認

【第11号議案】 「ワイズ読本」の作成と配布方法について

議案提案者 ワイズ必携小委員会委員 吉本貞一郎
販売価格を¥1,000とし、希望者に有償にて配布し、作

成数は、3,000冊とする。

承認

主任報告

YMCA サービス・ユース事業主任 濱田善秀

ユースコンボケーション参加者は自分の意見を国際社会への発信できるよう英語で準備を行った。次年度はスリランカで AYC が開催され、各部会1名以上の参加を期待。各部での YY フォーラムの開催を支援。

地域奉仕・環境事業主任 杉浦 眞喜子

「我がクラブの地域奉仕活動」アンケート・「環境マラソン」を実施予定、KOBÉ エイズフェスタを後援する。

EMC 事業主任 阪田民明

目標は、2000名の達成である。部やクラブで2000チームを活用いただき、良いクラブ、楽しいクラブによって増員を図っていただきたい。EMC 集計アンケートへの協力依頼。新入会者への理事からの歓迎カードの継続については、理事キャビネットで検討。

ファンド事業主任 島崎正剛

BF 代表の体験談を聞き読む機会を提供したい。「EF・JWF の栞」を活用し周年事業のクラブなどをお願いしたい。

BF の年次レポートがここ数年発表されていないので、その支出について情報を開示するよう進めて行く。

交流事業主任 小幡 弘

現状を把握するためにアンケートを行い集計し、楽しい交流を提案したい。IBC・DBC の締結情報として、京都めいぷると熊本ひがし、神戸ポートとシアトル、大阪土佐堀とケニアのクラブなどがブリテン等での確認である。

京都センチュリークラブの STEP 事業についても支援を行いたい。

交流事業は締結だけでなく交流の継続を取上げる。

広報事業主任 中堀清哲

EMC につながる広報を目指したい。内なる広報は情報がクラブレベルまで届くようにしたい。外なる広報はクラブパンフやワイズ名刺を作成し、常に携帯し回りの人への PR を心がけていただきたい。

メネット事業主任 田上かつみ

主査研修会を行う。各部主査にエイズ拡大防止のピンバッチを配布する。国際大会に参加し、メネット国際プロジェクトを確認したい。多くの部会でメネットアワーが予定されていて、国内プロジェクト「発達障がい子どもたちにかかわっているリーダーの研修支援」への学びを取組むいただき感謝である。

国内プロジェクト、国際プロジェクトおよび事業主任支援の3つの献金を行う。

部長報告

中部部長 谷川 修

クラブ活性化と増員を目指す。「楽例会」を企画し、ワイズを広げるプログラムとしたい。

びわこ部部長 岡田定一

環境問題については部で琵琶湖トラストを検討したい。

京都部部長 藤田寿男

555名体制を確立する事業を直前部長より継承する。各クラブの連携により、単なる参加から参画によってクラブの活性化をはかり増員を目指す。YMCA理解を深めたい。

阪和部部長 三木 求

中西部と合同でEMC・広報・交流シンポジウムを行う。部長訪問の折に入会式があり、目標191名となっている。

中西部部長 井上 巖

地域Y(ブランチ)との協働を進めていきたい。部会で各クラブの活動等の紹介を行い、心が一つとなる組織としたい。目標200名、10名以下のクラブの増員を期待している。

六甲部部長 山口政紀

クラブを元気にしていきたい。特に奉仕活動を行っているクラブ互いの援助を進めたい。次期理事の支援を行い、部より各クラブがしっかりとした活動が出来るように進めていく。

瀬戸山陰部部長 山水 満

2名のクラブが存続、遠隔地の支援を検討する。部目標100名。部長例会訪問の折にクラブ運営を報告していただき、各クラブ2名の増員を目指す。

西中国部部長 高瀬稔彦

計画は小粒でも必ずやり遂げることを部内をお願いした。波風を立てても部内の活性化を図りたい。広島をスポンサーとする新クラブの準備が計画されている。

九州部部長 平山 俊生

YMCA運動の担い手としてのワイズを提案し、ワイズでYMCA役員を活用したい。2つの新クラブを含め、100名増を目指したい。ワイズの目的を唱和する等、新たな取組を提案する。

YMCA 報告

日本 YMCA 同盟総主事 山田公平

YMCAは「子どもたちの心を育てる」活動を行っている。リーダーの成長は目を見張るものがあり、このようなことをYMCA外部にも知って欲しい。グローバル・シティズンシップ・アワードは、地球市民として青年を育てる事業である。市民とは、自らが関心を持ち、行動し、責任を感

じることであり、この事業を通して青年の心を開発したい。YMCA外部の青年にも門戸を開き、ユースを育てるというイメージを知らしめたい。将来、全収入の10%を寄付収入としたい(現在は1%)。

連絡主事 山添 訓

ミャンマー・サイクロン被害、中国四川大震災の募金に対する謝辞があり、YMCAは中長期的に復興支援を行っていききたい。西日本区大会で連絡主事の集いを行った。

常置・特別委員会、専任委員会 報告

JWF 管理委員会委員長 白井 征郎

JWF管理委員会規則に「ワイズ発展のためのプロジェクトに資する」とあるが、明確ではないので検討すべき時期ではないか。ただ、むやみに使用するべきではない。メンバーの思いによる基金なので大切に管理運用していきたい。(残高26,000千円)

文献保存委員会、ヒストリアン委員長 大槻信二

諸問題の解決に歴史が生かされる。ワイズの文献に知恵を見出せる。東日本区のような年鑑を作成すべきか検討しなければならない。膨大になる資料をデジタル等の技術で整理する仕組みを考えたい。

ワイズリーダーシップ開発委員会委員長 井之上温代

昨年度の研修会は、最高の出席率。アンケートをふまえてより良い研修会を目指したい。

次期役員研修会(2009年1月10-11日 ホテルクライトン新大阪)、次期会長・主査研修会(2009年3月7-8日 チサンホテル新大阪)

*情報委員会委員長 石津雅人(資料)

*物品サービス委員会委員長 鈴木良洋(資料)

クリスチャニティー委員会委員長 田上 正

キリスト教用語集、ブリテン用聖句解説を作成しているので活用して欲しい。研修会のキリスト教理解に対しては、肯定的な意見と否定的な意見がある。ふれる機会、接点を提供していきたいので、委員会や委員を活用していただきたい。

トラベルコーディネーター 上野哲男

昨年度来日されたインドからのBF代表はベジタリアンであったが、東日本区からの情報が参考になった。今年度は、2組のBF代表が来日予定。1組はフィンランドの親子。

組織検討安全対策委員会委員長 柴田善朗

西日本区の全般について、より良くするための意見や提案をお願いしたい。

2000 推進チーム委員長 森本榮三

昨年度作成の「DVDに学ぶ例会の持ち方」に対する反

応の報告。新たに「入会式・新入会員オリエンテーション」のDVDを作成中である。クラブ紹介リーフレットも広報と協力して進めて行きたい。

今年度、コピーを「2000目指して一直線！」と掲げた。

ワイズのロゴ、マーク等を使用する時は、国際基準を尊重していただきたい。

YYL、ワイズ必携小委員会 吉本貞一郎

ワイズの考えをYMCAに伝えたい。120年を迎える学生YMCA、ユースについても考えて行きたい。

ワイズ必携は、「ワイズ読本」とし、発行数や販売価格については協議をお願いしたい。

書記・会計報告、事務局報告

書記：半年報の提出期限およびEメールの取り扱いについて要望。会計：各役員経費と委員会の開催と旅費について申請方法等の説明。事務局：理事通信に添付する事業通信、部会案内などの期限説明。届いてない会長名を評議会で確認していただきたい。

事務所報告

半年報と区費の納入について協力依頼。

監事講評

<森本榮三行政監事>

事業主任は理事の方針を受けて具体的な行動を行って欲しい。また、役員として用語にも早く慣れて間違わないようにすべきである。今こそEMCが最も重要な時と思うので、2000名を目指して努力をお願いする。部長活動報告書の冒頭に部長主題を掲げて欲しい。区報の原稿は詳細に記録として掲載し、後の文献として考えて欲しい。ワイズ読本は、活用・普及を進めていただきたい。日本YMCA同盟のユースファンドも理解できた。

ワイズ役員とYMCA役員は、ぜひ話合を持って欲しい。

<佐野財政監事>

第1回役員会は方針と計画、第2回は中間報告、第3回が総仕上げと位置付け、簡潔に報告を行う。西日本区役員としての責任と自覚のもと活動をお願いする。

組織が継続していくために、西日本区は現・次期・直前のトロイカ方式の役員である。この意味を理解し、各事業や各部に置いてもトロイカ方式を進めて欲しい。

お詫びと訂正

昨年9月クラブ会長様を經由して、皆様に配布させて頂いた2007・2008期西日本区報第3号 P24に掲載のJWF 献金実績表に、理事キャビネットの不注意で献金者のお名前漏れ及び献金趣旨を間違っして掲載してしまいました。献金者には深くお詫び申し上げますと共に、西日本区メンバーの皆様にもご迷惑をお掛けしますが、正誤表を掲載しますので、宜しくご訂正戴きます様お願い申し上げます。

2007-2008 西日本区理事 神谷 尚孝
西日本区書記 望月 強
西日本区会計 金城 清輝

2007 - 2008 西日本区報 第3号
P24 掲載 JWF 献金実績表 最下段から上3段まで

2007～2008 JWF 献金

氏名	クラブ名	金額	献金趣旨
・	・	・	・
大阪なかのしま		¥11,000	YMW 印刷費
大阪ヴェクセル		¥10,000	ミャンマー災害支援
大阪サウス		¥10,000	ワイズの地域貢献を願って
合計		¥791,000	



氏名	クラブ名	金額	献金趣旨
・	・	・	・
今井 利子	大阪なかのしま	¥11,000	孫の進学、息子の一周忌、多忙の中健康を感謝して
岩間 みどり	大阪ヴェクセル	¥10,000	地域奉仕・環境事業主任の任を終え感謝
東 良學	大阪サウス	¥10,000	理事事務局長の任を終え感謝
合計		¥791,000	

西日本区女性会員現況

(出典：2008 - 2009 西日本区ロースター)

掲載全メンバー数 1,727 名中 (含、連絡主事・特別メネット) 女性会員 248 名 14.4 %
女性会員比率上位の部

①九州部 22.2 % ②びわこ部 20.2 % ③中西部 20.0 %

女性会員比率上位 6 クラブ (会員数 20 名以上クラブに限定、特別メネット含まず)

①大阪なかのしま 100 % ②滋賀蒲生野 50 % ③熊本ジェーンズ 36.6 %
④宮崎 36.4 % ⑤熊本 28.6 % ⑥和歌山紀の川 28 %

編集後記

今年も地球温暖化の影響か降雪量も少なく、桜の開花報道も昨年より早く各地から聞こえて来ます。本区報2号は本来3月初旬発行予定でしたが、一部役員の手原稿の遅れや、内容不備で加筆訂正をお願いしたのも有り、また、特集記事「女性メンバー座談会」の、活発なご発言は要点記録だけでも、7ページを越す量となってしまいました。司会をされた森本「西日本区2000推進」委員長の、女性の話し言葉でとのお勧めもあり、当日陪席された三浦前区報編集委員長にお手伝い戴き、割愛、割愛を繰り返し何とか3ページに纏める作業に手間取り、遅れてしまった事をお詫び致します。

今原稿を読み返してみますと、各部、各クラブで理事方針・事業主任方針に則り、それぞれ特色あるワイズの奉仕活動・事業が展開されている事を再認識致します。こうしたワイズらしい奉仕活動の積み重ねこそが、ワイズメンズクラブの認知度向上に繋がる唯一の道であり、「継続は力なり」の言葉を信じ、これからもこうした奉仕事業の継続が、周囲の人々をも巻き込み、新しいメンバーの獲得に繋がる事を祈りつつ編集作業を進めさせて頂きました。ご協力戴いた皆様に感謝申し上げます。

【区報編集委員会】

委員長	高橋 辰吉 (彦 根)	委員	蔵知 武 (岡 山)
委員	大谷 勝彦 (大阪高槻)	委員	守田 富男 (八 代)
委員	吉本貞一郎 (熊 本)		

西日本区現勢

2009年1月1日現在

部	クラブ名	2009.1.1	2008.7.1	2008.1.1	増減
中部	金 沢	11	11	11	2
	名 古 屋	29	29	29	0
	名古屋東海	21	21	22	0
	名古屋南山	8	8	10	-2
	四 日 市	25	26	26	-1
	名古屋プラザ	11	12	12	-1
	名古屋グランパス	15	13	14	2
	津	4	4	4	0
	金沢犀川	7	8	7	-1
小 計	9	131	132	135	-1
びわこ部	近江八幡	20	19	18	1
	彦 根	13	12	13	1
	彦根シャトー	31	33	33	-2
	長 浜	45	43	44	2
	草 津	18	18	14	0
	滋賀蒲生野	24	21	22	3
	大 津	9	10	11	-1
小 計	7	160	156	155	4
京都部	京 都	33	36	34	-3
	福 知 山	8	9	9	-1
	京都パレス	50	52	50	-2
	京都ウエスト	26	26	25	0
	京都めいぶる	33	34	33	-1
	京都キャピタル	31	30	30	1
	京都プリンス	21	21	22	0
	京都センチュリー	16	18	17	-2
	京都ウイング	41	43	41	-2
	京都洛中	17	17	18	0
	京都エイブル	16	16	18	0
	京都グローバル	56	55	54	1
	京都みやび	16	17	15	-1
	京都トップス	24	23	24	1
	京都トゥービー	37	35	31	2
	京都東稜	15	15	16	0
	京都ウエル	12	11	13	1
小 計	17	452	458	456	-6
阪和部	田 辺	8	8	7	0
	和 歌 山	17	17	16	0
	奈 良	23	21	21	2
	大阪サウス	30	30	30	0
	大阪堺	8	8	8	0
	大阪河内	21	22	21	-1
	大阪長野	8	10	12	-2
	大阪泉北	19	18	18	1
	和歌山紀の川	22	22	23	0
	大阪ザンスカイ	7	7	8	0
小 計	10	163	163	164	0

部	クラブ名	2009.1.1	2008.7.1	2008.1.1	増減
中西部	大 阪	25	24	23	1
	大阪土佐堀	19	20	18	-1
	大阪豊中	11	12	12	-1
	大阪千里	8	8	9	0
	大阪高槻	22	23	23	-1
	大阪センテニアル	18	18	17	0
	大 阪 西	16	15	15	1
	大阪茨木	16	16	17	0
	大阪セントラル	10	10	10	0
	大阪なかのしま	26	26	23	0
	大阪ヴェクセル	11	11	11	0
	小 計	11	184	183	178
六甲部	神 戸	20	22	22	-2
	西 宮	21	21	23	0
	神 戸 西	13	13	13	0
	神戸ポート	16	17	15	-1
	宝 塚	22	22	21	0
	さ ん だ	20	19	19	-1
	神戸学園都市	22	23	23	-1
	芦 屋	20	20	21	0
小 計	8	154	157	157	-3
瀬戸山陰部	姫 路	14	14	15	0
	岡 山	30	30	30	0
	鳥 取	13	12	15	1
	高松さぬぎ	2	2	9	0
	姫路グローバル	18	18	16	0
	米 子	13	14	15	-1
小 計	6	90	90	100	0
西中国部	広 島	21	20	24	1
	福 山	3	3	3	0
	呉	6	3	3	3
	東広島	11	9	12	2
	岩 国	17	12	13	5
小 計	5	58	47	55	11
九州部	長 崎	8	8	8	0
	熊 本	35	34	34	1
	北九州	12	12	12	0
	福岡中央	21	19	19	2
	熊本ジェーンズ	40	40	45	0
	博多オーシャン	17	18	22	-1
	八 代	11	10	10	1
	鹿 児 島	19	15	17	4
	大 分	2	2	2	0
	熊本むさし	28	28	27	0
	熊本みなみ	31	27	24	4
	宮 崎	22	23	22	-1
	熊本ひがし	26	27	25	-1
阿 蘇	22	23	21	-1	
小 計	14	294	286	288	8
合 計	87	1,686	1,672	1,688	14

(連絡主事を含み、特別メネットは除く) 増減は今期7月1日との比較

第12回西日本区大会

熊本であなたとともにすワイズの灯

タイムスケジュール

6月5日(金)	11:30	西日本区理事杯チャリティーゴルフコンペ	熊本空港カントリークラブ	
	19:00	前夜祭	壱乃倉庫(いちのそうこ)	
6月6日(土)	9:00	第4回役員会	崇城大学市民ホール(熊本市市民会館)	
	9:00	第2回準備役員会	崇城大学市民ホール(熊本市市民会館)	
	10:30	西日本区年次代議員会	崇城大学市民ホール(熊本市市民会館)	
	11:00	メネットアワー	国際交流会館	
	13:30	第12回西日本区大会(1日目)	崇城大学市民ホール(熊本市市民会館)	
			第1部 オープニング バナーセレモニー 熊本ヤングワイズメンズクラブ(仮称)加盟認証状伝達式 第2部 「ともそうワイズの灯」 第3部 西日本区アワー I	
	18:30	懇親会	ホテル日航熊本	
21:30	フェロウシップアワー	ホテル日航熊本		
6月7日(日)	9:00	第12回西日本区大会(2日目)	崇城大学市民ホール(熊本市市民会館)	
		第1部 聖日礼拝 第2部 西日本区アワー II 事業主任報告・表彰式・引継式 第3部 閉会式		
	12:10	エクスカーション出発		

◇エクスカーションのご案内◇

Aコース 森の都熊本市探訪 熊本城本丸御殿で昼食	日帰り 9,000円
Bコース 人気日本一 黒川温泉と世界一の阿蘇山	1泊2日 35,000円
Cコース 新鮮海の幸とキリシタンの里をたずねての天草	1泊2日 33,000円
詳細は参加要項をご覧ください。お問合せ先	(096)370-1236



も く じ

“思いやりを持ってワイズライフを！”..... 理事 佐藤 典子..... 1
ごあいさつ
「すべてのいのちを大切に」ーいのち・平和・環境ー 次期理事 鈴木 誠也..... 4
「変」..... 直前理事 神谷 尚孝..... 4
ワイズ再発見、さらに前進！..... 書記 守田 富男..... 5
更なる健全財政に向けて..... 会計 小堀 鈴代..... 5
行動しよう..... 行政監事 森本 榮三..... 6
安定した財政基盤のために..... 財政監事 佐野 文彦..... 6
事業活動報告
多くのプログラムに参加してください..... Yサ・ユース事業主任 濱田 善秀..... 7
“地域奉仕環境事業あれこれーこの半年ー”..... 地域奉仕・環境事業主任 杉浦 眞喜子..... 8
思いやりの心で充実した例会 楽しい所に人は集まる..... EMC事業主任 阪田 民明..... 9
“ファンド事業への貢献を！”..... ファンド事業主任 島崎 正剛..... 9
交流の意義そして楽しみ！..... 交流事業主任 小幡 弘..... 10
ワイズのことを知ろう！知っていただきましょう！..... 広報事業主任 中堀 清哲..... 11
すばらしい応援団！..... メネット事業主任 田上 かつみ..... 12
熊本にし(仮)クラブが設立総会..... 西日本区2000推進チーム委員長 森本 榮三..... 13
特集 座談会「女性メンバーから見たワイズメンズクラブ」..... 区報編集委員会..... 14
部活動報告
道半ば～後半期に飛躍を期す～..... 中部部長 谷川 修..... 17
びわこ部前期活動報告..... びわこ部部長 岡田 定一..... 17
振り返ればYサ...かな..... 京都部部長 藤田 寿男..... 18
阪和クラブでワイワイガヤガヤ!! 阪和部部長 三木 求..... 19
中西部上半期活動報告..... 中西部部長 井上 巖..... 20
前代未聞の六甲部会！でも元気度UP！の8クラブ..... 六甲部部長 山口 政紀..... 21
瀬戸山陰部前半期活動報告..... 瀬戸山陰部部長 山水 満..... 22
特養ホーム「西中国荘」へようこそ..... 西中国部部長 高瀬 稔彦..... 23
YとY'sの絆で、社会奉仕！パートII..... 九州部部長 平山 俊生..... 24
常置・特別委員会活動報告
“温故知新2”..... 文献保存・歴史アン委員長 大槻 信二..... 25
西日本区2000目指して一直線！..... 西日本区2000推進チーム委員長 森本 榮三..... 26
物品サービス委員会報告..... 物品サービス委員長 鈴木 良洋..... 26
西日本区第1回準備役員会議事録..... 27
西日本区現勢(2009年1月1日)..... 32

メネット報NOTES&NEWS

忘れまい「奉仕の心」絶やすまい「メネットの灯」..... メネット事業主任 田上 かつみ..... 1
メネット事業上半期活動報告..... 1
西日本区主査活動報告..... 2
中部主査 加藤朱美、びわこ部主査 杉山 満、京都部主査 松村智子、阪和部主査 田中登紀子、中西部主査 三品ミチ子、
六甲部主査 森 愛子、瀬戸山陰部主査 前田恵理子、西中国部主査 井上寿子、九州部主査 平山美保
次期メネット事業主任をお引き受けして..... 次期メネット事業主任 森 愛子..... 7
2008～2009年度メネット事業支援金中間報告..... 8

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

理事 オフィス / 〒861-2233 熊本県上益城郡益城町惣領1415 吉本貞一郎方 TEL:096-286-2555 FAX:096-286-2557
西日本区事務所 / 〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-5-2(株)上野ビル2F TEL:06-4805-0570 FAX:06-4805-0571
E-mail: info@ys-west.or.jp